令和3年度

科目名	文化史概論	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 必修
担当教員	福島　寅太郎,桑野　聡		
開講期	通年		
授業概要	〔授業の目的・ねらい〕☒ ①必要な文化史的知識を習得させること。☒ ②幅広い専門的知識を養わせること。☒ ③文化史関係の文献の読解および扱い方に必要な基礎力を高めさせること。☒ 〔授業全体の内容の概要〕☒ 前期(桑野)は歴史学の学びを理解するために史学史を概観する。近代歴史学の形成と発展を確認することで「文化史」が持つ意味を理解し、各自の研究の方法論を理解する一助としたい。 後期（福島）は、末木文美士氏の『日本宗教史』（岩波新書）を教科書として使い、毎回輪読をし、日本宗教の歴史と文化を学ぶ。新書版だから、読みやすいというイメージがあるが、実際に読んでみると読めない言葉、わからない用語が多々ある。一字一句を声を出して読むという読書の経験が少なくなってきた今日では、一冊の本を時間をかけてじっくり読むという姿勢が珍しいと思われるかも知れないが、必要なことであり、学ぶという本来あるべき姿勢だと考える。☒ 授業時の質疑応答やレポートの返却等によってフィードバックを行う。　CS2101		
達成目標	〔授業終了時の到達目標〕☒ 前期の歴史学史の学びを踏まえて、専攻科学生各自の研究テーマの研究史をレポートにまとめることを前期分の単位認定の最低基準とする。 後期は、①文化としての宗教を理解する。☒ ②日本の歴史における宗教の影響とその役割を学び、日本文化の総合的な理解を目指す。③紹介された諸事例について学問的な理解をする。☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：専門知識、研究能力		
受講資格	短大専攻科文化学専攻1年	成績評価 方法	前後期レポート（各50点）
教科書	前期は、桑野聡「歴史学と「文化学」の形成－郡山女子大学短期大学部文化学科の試み」（『郡山女子大学紀要』第55集　2019年）を配布する。 後期は、末木文美士『日本宗教史』岩波新書　2006年を購入。		
参考書	随時提示する。		
学生への要望	・授業に積極的に参加すること。☒ ・ノートをこまめにとること。		
オフィスタイム	前期（桑野）は、火曜日Ⅰ時限目（8:50～10:20）・金曜Ⅴ時限目(16:10～17:40)　考古学研究室 後期（福島）は、月曜日１６時～１７時。担当教員の研究室（創学館No.５）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	前期ガイダンス	本講義の進め方を解説する。	授業の進め方を良く理解し、次回からの準備を整える。	30
2	文化学科の歴史	テキストの「はじめに」を手掛かりに本専攻科の母体であった文化学科の歴史を材料に「歴史を書く」とはどういうことかを解説する。	史料となる学園史や『文化学科資格課程報告集』を実際に手を取って内容確認をしてみる。	120
3	近代以前の歴史①	テキスト第1章「歴史叙述のはじまり　(1)神話」を材料に、歴史と宗教の関係について解説する。	日本神話や自分の知っている神話の事例を確認しておこう。	60
4	近代以前の歴史②	テキスト第1章「歴史叙述のはじまり　(2)メルヘン」を材料に、歴史と物語の関係について解説する。	従来のメルヘン研究と歴史学のメルヘン研究の違いを考えるために、参考文献を手に取ってみよう。	60
5	近代以前の歴史③	テキスト第1章「歴史叙述のはじまり　(3)世界年代記」を材料に、中世のキリスト教と歴史の関係について解説する。	聖書の歴史観・歴史像を知るために『旧約聖書』の「創世記」などを読んでみよう。	60
6	近代以前の歴史④	テキスト第1章「歴史叙述のはじまり　(4)都市年代記」を材料に、世俗の歴史叙述と歴史の関係について解説する。	巡礼や十字軍、経済活動などが外の情報をもたらし、当時の人々の世界観・歴史観を変えていくプロセスを考えてみよう。	60
7	近代以前の歴史⑤	テキスト第1章「歴史叙述のはじまり　(5)人文主義～啓蒙主義の歴史叙述」を材料に、中世から近代への移行期の歴史叙述について解説する。	近代的価値観（人間中心・現世肯定）の普及によって「知ること」や「知識」の意味が変わるということを考えてみよう。	60
8	近代歴史学①	テキスト第2章「近代歴史学の誕生と発展　(1)ランケ史学と政治史」を材料に、19世紀の歴史学の誕生を解説する。	なぜ、国家や為政者の歴史が重要なのかを考えてみよう。	60
9	近代歴史学②	テキスト第2章「近代歴史学の誕生と発展　(2)文化史の展開」を材料に、本学の「文化学」に繋がる「文化史」について解説する。	ホイジンガの著作『ホモ・ルーデンス』や『中世の秋』などを手に取ってみよう。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	近代歴史学③	テキスト第2章「近代歴史学の誕生と発展　(3)唯物史観・マルクス史学と社会経済史」を材料に、社会主義・共産主義思想を政治的問題とは別の視点で解説する。	「大衆」や「民衆」という存在を歴史に描こうとする時の問題点を考えてみよう。	60
11	近代歴史学④	テキスト第2章「近代歴史学の誕生と発展　(4)比較文明学とグローバル・ヒストリー」を材料に、大きなスケールでの歴史理解の試みについて解説する。	ハラリの『サピエンス全史』など、最近話題の本を手に取ってみよう。	60
12	近代歴史学⑤	テキスト第2章「近代歴史学の誕生と発展　(5)アナール学派と社会史の試み」を材料に、現在の歴史学の主流となっている「社会史」について解説する。	アナール学派は思考する「全体史」のイメージを理解しよう。	60
13	近代歴史学⑥	前回に続いてアナール学派と社会史について、その課題について解説する。	実際に図書館や大型書店で社会史の本を手に取ってみよう。	60
14	現代の歴史学	テキスト「おわりに」を材料に、現代の歴史学で注目される動向について解説する。	新聞の書評欄などに目を向けてみよう。	60
15	まとめ	前期の歴史学の歴史に関する講義を振り返り、まとめとする。	課題レポートについて、各指導教員と相談してしっかり準備しよう！	60
16	後期ガイダンス	絵画に見る「天神さま」について		90
17	天神信仰における東福寺の位置づけについて	東福寺における天神信仰の伝承を探る	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
18	天神像の変容について	怨霊信仰から学問の神様への「変身」についての歴史的な過程をたどる	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
19	怨霊信仰と天神信仰について	先行研究の紹介とその問題点について探る	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
20	天神信仰と陰陽道について	陰陽道の動向を視野に入れつつ、天神信仰の展開をさらに探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
21	梅と天神信仰	菅原道真像を手がかりに梅と天神の変容のあり方を探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
22	北野天満宮をめぐる諸問題	担当者の実地調査を踏まえつつ、北野天満宮の実体と天神信仰の変容について探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
23	学問の神様としての菅原道真像の形成	学問の神様としての菅原道真像の形成とその確立について探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
24	天神信仰の広がりについて	天神信仰の地方への広がりについて具体的な事例を取り上げて述べる。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
25	東北地方における天神信仰	東北六県における天神信仰の実体を写真などを通じて探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
26	会津地方における天神信仰の特徴	学問の神様へと変容された会津地方の天神信仰の実体とその特徴について探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
27	庶民信仰としての天神信仰	地域の人々が天神信仰とどのように関わっているかを市町村の関連資料を基に探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
28	天神信仰の現在ー地方神社における合格祈願を手がかりにー	神社と天神信仰の関係について、会津地方の事例を手がかりに探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
29	まとめ～その①天神信仰の宗教性と歴史的性格	まとめに当たって、天神信仰の宗教性と歴史性、地方的特徴について考える。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90
30	まとめ～其の②天神信仰の宗教性と歴史性	前回と同じ。期末試験については、レポートを提出すること。詳しいことは授業で指示する。	教科書と参考文献を読み、理解すること	90

令和3年度

科目名	日本近世の歴史と文化	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	佐藤　愛未		
開講期	通年		
授業概要	江戸時代において将軍の住居兼幕府の政が行われた場所、江戸城。この江戸城の中心でもあった本丸御殿は、用途によって表・奥・大奥と三区分された。それぞれの構造からみた江戸幕府の政治・制度のありかたについて、江戸城の本丸御殿の役割とともに学ぶ。☒ また、江戸時代約270年間、天下の泰平と政治の安定が続いたのはなぜであったのか。江戸時代に設けれた様々な仕組みなどに関する史料の読み方とあわせて学んでいく。☒ 決められた課題について、学生が調査し口頭発表し、教員とのゼミナール形式に授業をすすめる。☒ なお、学期末ごとにフィードバックを行います。☒ ☒ 位置づけ・水準　CS2102		
達成目標	江戸時代における、江戸城の役割、行政と社会の仕組みについて理解する。また、口頭発表を通して、文章講読や要約方法、史料の読み方などを学び、他者に伝える力を養う。を達成目標とします。☒ 単位認定の最低基準は、☒ ①授業内容の７割を理解していること。☒ ②資料読解の基礎を７割理解していること。☒ ☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：専門知識・研究能力		
受講資格	専攻科1年生	**成績評価方法**	①研究課題が適切で調査研究が主体的、継続であり、口頭発表では研究課題を克服し、合理的な思考力でなされていること30点☒ ②レポート70点(前期後期2回、各35点満点)
教科書	プリントを配布する。		
参考書	深井雅海『江戸城』中公新書、2008年☒ 藤田覚『泰平のしくみ』岩波書店、2012年　ほか適宜指示をする		
学生への要望	予習復習を行い、問題関心・探究心をもって授業に出席すること。		
オフィスタイム	火曜日・水曜日Ｉ時間目。創学館4階、№5研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の導入として、授業の舞台となる江戸時代は約270年間、天下の泰平と政治の安定が続いた。江戸時代とはどのような時代であったのかを概説し、史料を読み方と授業計画を説明する。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントをおさらいする。	30
2	江戸城の概要	授業内容の説明と史料を読み方の導入。江戸城の構成と本丸御殿、江戸城の歴史と構成、江戸城の中心であった本丸御殿の概要を紹介し、本丸御殿への登城について説明する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
3	「表」の役割（１）	本丸御殿の「表」で行われる、将軍との関係を表徴する殿中儀礼で使用される「空間」と大名の殿席・官位について学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
4	「表」の役割（２）	江戸城で実施される年中行事、その際に使用される大名の礼席などについて学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
5	「表」の役割（３）-1	江戸城で実施される年中行事のなかからいくつか具体例を取り上げ、大名と諸役人の役割や礼席について学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
6	「表」の役割（３）-2	諸大名の官位昇進運動の具体例を紹介し、殿中儀礼でも重要視される殿席・官位について考える。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	「表」の役割（4）	本丸御殿の「表」の構造から、江戸幕府の職制や江戸城に登城する役人の詰所を検証し、政治の仕組みについて学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
8	「表」の役割（5）	「表」の長官とされる老中、老中を支える若年寄やその秘書官とされる奥右筆とそれらが関係する法令伝達の流れについて学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
9	「表」の役割（6）-1	行政と司法の中心である三奉行と大小目付や勘定所について学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
10	「表」の役割（6）-2	江戸城下の江戸町屋敷地に住む町人を管轄した町奉行所と町奉行について学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
11	「表」の役割（6）-3	「表」における政務処理の仕組みについて学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
12	「奥」の役割（1）	将軍の執務・生活空間は一般的に「中奥」と呼ばれるが、幕府の日記には「奥」と記されている。いつからそう呼ばれるようになったのか、そして「奥」の構造から将軍の生活について探る。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
13	「奥」の役割（2）	「中奥」と「奥」について学び、「奥」の構造から将軍の生活について探る。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
14	「奥」の役割（3）-1	将軍の生活空間である「奥」での日常と将軍の情報源、そして「奥」の諸役人ついて学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
15	「奥」の役割（3）-2	将軍の情報源として設置された「目安箱」を中心に民間献策と幕府行政との関係について学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
16	「奥」の役割（4）	「奥」での将軍との謁見の仕方を大名・諸役人についてそれぞれ学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
17	「奥」の役割（5）	将軍の執務・生活空間である「奥」だが、将軍やその側近が政治の主導権を握っている場合には奥が政治の舞台となる「奥政治」が展開された。まず、柳沢吉保や間部詮房らが台頭した4代将軍綱吉～7代将軍家綱の実態について検証する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
18	「奥」の役割（6）	御三家である紀伊徳川家の出身である8代将軍吉宗の「奥政治」について、その実態について新設された制度や役職などから検証する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
19	「奥」の役割（７）	9代将軍家重の側近である田沼意次を中心に当時の「奥政治」の実態を学び、「奥政治」について考える。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
20	「大奥」の役割（１）	「大奥」の構造と将軍の寝室・御台所の生活空間、またそこで生活する将軍の側室や将軍の生母について学ぶ。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
21	「大奥」の役割（２）	「大奥」における職制と大奥女中の生活、大奥勤務の男性役人が詰めた広敷について探る。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
22	江戸城の役割	江戸時代において政治の舞台となった本丸御殿のもつ役割について総括する。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
23	史料を読む（１）	近世期に作成された文書の内容を読み解く。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
24	史料を読む（２）	近世期に作成された文書の内容を読み解く。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
25	史料を読む（３）	近世期に作成された文書の内容を読み解く。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
26	史料を読む（４）	近世期に作成された文書の内容を読み解く。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
27	史料を読む（５）	近世期に作成された文書の内容を読み解く。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
28	史料を読む（６）	近世期に作成された文書の内容を読み解く。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
29	史料を読む（７）	近世期に作成された文書の内容を読み解く。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
30	後期まとめ	江戸時代について、前期後期の内容をもとに考える。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30

令和3年度

科目名	日本近代の歴史と文化	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	佐藤　愛未		
開講期	通年		
授業概要	お雇い外国人である、ドイツ人外交官のオットマール・フォン・モールは明治20(1887)年に来日し、東京の宮内省の顧問になり、ヨーロッパの宮廷儀式を導入した人物である。明治天皇の宮中に勤務した際の記録には、モール自身の仕事の他にも明治20年代の文明開化の諸相が、宮中のみならず日本各地の景色や風俗を交えてきめ細やかに描かれている。その記録から明治政府の文明開化政策とモールが描く日本文化について考える。モールの記録から明治20年代における宮中や日本各地の文明開化の諸相と彼からみた日本文化について講義する。☒ また、明治時代に作成された史料(諸記録や新聞・旅行記)読みながら当時の日本の様子について学ぶ。☒ なお、最終授業で全体に対するフィードバックを行います。☒ ☒ 位置づけ・水準　CS2103		
達成目標	現在の日本における暮らしについて明治の文明開化が契機となっていることを理解する。外国人からみた日本文化の評価から、日本独自の文化について再認識する。また、多様な史料を読み解く力を身につける。を達成目標とします。☒ 単位認定の最低基準は、☒ ①授業内容の７割を理解していること。☒ ②資料読解の基礎を７割理解していること。☒ ☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：専門知識・研究能力		
受講資格	専攻科１年生	**成績評価方法**	①研究課題が適切で調査研究が主体的、継続であり、口頭発表では研究課題を克服し、合理的な思考力でなされていること30点☒ ②レポート70点(前期後期2回、各35点満点)
教科書	プリントを随時配布する。		
参考書	オットマール・フォン・モール『ドイツ貴族の明治宮廷記』（講談社学術文庫、2011年☒)☒ 郡山市『郡山市史』第4巻近代(上)（1969年）、第9巻資料(中)（1970年）ほか適宜、指示する。		
学生への要望	問題意識・目的意識や興味関心を持ち受講することを望むこと。また事前学修、事後学修に各１時間をとること。		
オフィスタイム	火曜日・水曜日Ｉ時間目。創学館4階、№5研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の進め方（ガイダンス）	オットマール・フォン・モールが日本に招かれた背景や来日当時の政治・社会情勢などについて解説する。また、授業計画などの説明を行う。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントをおさらいする。	30
2	宮中の様子（１）	モールの日本到着前後における印象について考え、彼の記録から当時の宮中の様子を検証する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
3	宮中の様子（２）	宮中では洋式宮中宴会が開かれることが多々ある。外国からの賓客をもてなすため導入された、宮中の食事や作法における西洋化について考える。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
4	宮中の様子（３）	日本には古代より中国の位階、爵位を模範としていた。しかし、明治維新をむかえ、西洋式も取り入れられる。日本独自の爵位と華族の称号について検証する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
5	宮中の様子（４）	宮中にはさまざまな行事が存在する。その行事にも西洋文化が取り入れられることが多々見られた。そのことについて参加した、モールはどのように感じとったのか探る。	予習：授業配布時のプリントを予習する。参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。発表準備に取り掛かる。	30
6	宮中の様子（５）	日本にも明治20年代になると西洋建築の建物が立ち並ぶようになる。これらの建築と内装についてモールの視点から当時の様子を検証する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	宮中の様子（6）	当時の日本において、内外人と応接する宮廷人の衣裳問題は政治問題であった。そのため、政府はモールに期待するが、彼は日本の民族衣装を尊重する発言をした。この問題から当時の洋装の重要性について考える。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
8	宮中の様子（7）	モールが当時直面した宮中における明治政府が推進した西洋化の様子、また、その諸問題について、総括する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
9	日本各地の様子(1)～東京～	来日した直後、また生活の中で触れた東京の様子から、当時の文明開化について考える。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
10	日本各地の様子(2)～神戸・大坂・奈良～	モールは京都の情報収集のため、関西に旅行にでた。その際合わせて赴いた、当時の神戸・大坂・奈良の様子を文明開化の影響やそれぞれの歴史と共に検証する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
11	日本各地の様子(3)～京都～	京都において京都御所をはじめとした西洋とは異なる美術・建築・風景にモールは感銘を受ける。彼が思案した京都という空間と文化について考える。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
12	日本各地の様子(4)～滋賀・名古屋・静岡～	関西旅行の帰路で立ち寄った滋賀・名古屋・静岡・箱根の記録では、日本の風景や自然とあわせて、交通に関する様子なども描かれている。当時の交通整備の様子などについて考える。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
13	日本各地の様子(5)～箱根～	モールは日本滞在中に何度か箱根を訪れており、記録には富士登山や芦ノ湖周辺などの様子が詳細に描写されている。現在も観光地として有名な箱根周辺の当時の様子について紹介する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
14	日本各地の様子(6)～日光・福島～	当時の日光は、鉄道で赴くことができ近代的なホテルがある避暑地として人気であった。モールは立ち寄った日光東照宮において深い感銘を受ける。また、彼は福島にも訪れ噴火直後の磐梯山登山を行っている。その様子について紹介する。	予習：授業配布時のプリントを予習する。発表準備に取り掛かる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
15	前期まとめ	モールが日本で触れた文明開化の様子と日本独自の文化、また景色について、彼の視点・思考から統括する。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
16	明治時代の史料を読み解く（1）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。今泉久三郎及び今泉家について説明し、明治2年の部分を解読①。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
17	明治時代の史料を読み解く（2）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治2年の部分を解読②。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
18	明治時代の史料を読み解く（3）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治3年の部分を解読①。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
19	明治時代の史料を読み解く（4）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治3年の部分を解読②。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
20	明治時代の史料を読み解く（5）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治4・5年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
21	明治時代の史料を読み解く（６）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治5年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
22	明治時代の史料を読み解く（７）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治6年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
23	明治時代の史料を読み解く（８）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治6・7年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
24	明治時代の史料を読み解く（９）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治8年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
25	明治時代の史料を読み解く（１０）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治9年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
26	明治時代の史料を読み解く（１１）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治10年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
27	明治時代の史料を読み解く（１２）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治10・12年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
28	明治時代の史料を読み解く（１３）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治14・15年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
29	明治時代の史料を読み解く（１４）	郡山市歴史資料館所蔵の「今泉久三郎日記」をよみ、明治初年の郡山の様子を探る。明治３年の部分を解読。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30
30	後期まとめ	明治時代の郡山、福島県の様子から現在の「郡山市」について考える。	予習：授業配布時のプリント及び史料をあらかじめ読んでくる。 復習：授業内配布プリントを読み、理解が不十分である部分を調べる。	30

令和3年度

科目名	考古学特論	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	會田　容弘		
開講期	通年		
授業概要	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。史跡整備、埋蔵文化財の範囲確認・試掘・記録保存、学術調査などのさまざまな目的の発掘調査の実務経験を活かし、遺跡の発掘調査準備、調査、整理作業の実際を学ぶ。考古資料の基本的な操作方法を理解することが目標である。会津若松市笹山原遺跡１６の発掘調査実習を通して発掘方法を理解する。次に出土資料の資料化の過程を理解する。課題に対するレポートはデータおよび版下図として提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 位置付け・水準CS2104☒		
達成目標	＜到達目標＞発掘調査で出土した資料を考古学研究の資料として利用できるまで整理できる能力を身に着けるレベルまで到達すること。単位認定の最低基準は授業内容の7割以上を理解していること。ディプロマポリシーとの関係：研究能力と研究課題		
受講資格	考古学の基本理解があること	成績評価 方法	レポートと授業への主体的参加度を評価する。100点を満点とし、60点以上で合格とする。考古学論文を作成する学生は80%以上の理解を求める。
教科書	『発掘調査のてびき』		
参考書	文化学科（資格課程）報告集第４～21集　地域創成学科報告集第1・２集		
学生への要望	考古学実習発掘に参加すること。この授業は実習作業が中心になる。資料を配布するので事前にそれを読み、確認しておくことが予習である。授業後、授業内容をノートに作成し復習すること。特に実測図の作成は授業時間で完成できない場合はあき時間に完成させること。		
オフィスタイム	火曜日3時限目、水曜日２・４時限目。　☒ 時間があいている限り、対応するが論文作成に関する質問は事前にアポをとり、質問内容を知らせること。メールの質問も可。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	笹山原遺跡１６の調査経過	会津若松市笹山原遺跡１６のこれまでの発掘調査の経過を説明する。	過去の発掘調査の理解。	60
2	笹山原遺跡１６の調査方法	笹山原遺跡１６の発掘調査方法について説明を行い、実際に調査を行う準備を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
3	笹山原遺跡群の研究成果	これまでの笹山原遺跡群の調査成果をまとめ、その意義と今後の課題について検討する。	過去の発掘調査の理解。	60
4	発掘調査実習（１）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱａ層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
5	発掘調査実習（２）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱａ層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
6	発掘調査実習（３）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱａ層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
7	発掘調査実習（４）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱｂ層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
8	発掘調査実習（５）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱｂ層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
9	発掘調査実習（６）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱｂ層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
10	発掘調査実習（７）	笹山原遺跡N0.1６の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
11	発掘調査実習（８）	笹山原遺跡N0.1６の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
12	発掘調査実習（９）	笹山原遺跡N0.1６の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
13	発掘調査実習（１０）	笹山原遺跡N0.1６の発掘調査。Ⅳ層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	発掘調査実習（１１）	笹山原遺跡N0.1６の発掘調査。Ⅳ層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
15	発掘調査実習（１２）	笹山原遺跡N0.1６の発掘調査。Ⅳ層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
16	石器実測の方法	石の割れの原理を説明し、石器の実測方法について説明を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
17	石器実測（1）	実験で製作した剥片の実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
18	石器実測（２）	笹山原No.16遺跡から出土した後期旧石器を資料として実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
19	石器実測（３）	笹山原No.16遺跡から出土した石核を用いて実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
20	石器実測（４）	笹山原No.16遺跡から出土した石器を用いて、実測を行う。	完成した石器実測図をレポートとして提出する。	60
21	接合資料の理解	笹山原No16遺跡から出土した石器の中に、接合資料が含まれている。この接合資料を用いて、笹山原⊠No.16遺跡で行われた、石器製作技術理解の方法を述べる。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
22	石器属性分析の方法	石器を記述するために属性を抽出し、記述する。その方法を学ぶ。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
23	石器属性計測実習	石器の属性を実際に計測し、抽出する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
24	石器属性分析の実際	抽出した属性をEXCELに入力し、属性分析を行う。	授業で行った属性分析結果をExcelに入力し、グラフに出力し、提出する。	60
25	石器写真撮影	笹山原No.16遺跡出土の石器の写真撮影実習。	授業で撮影した写真をフォトショップとイラストレーターを用いてレイアウトし、データを提出する。	60
26	報告書製作１	実測図のトレース、分布図の作成、属性表、調査内容の記述などの説明を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
27	報告書製作２	実測した石器のトレースを行い、版下のレイアウトを行う。	トレースした図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
28	報告書製作３	分布図を作成し、石器の出土位置を合成する。母岩別分布図を作成する。それらをトレースし、版下を⊠作成する。	遺構図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
29	報告書製作４	遺構実測図の合成し、トレースを行い、遺構図面の版下を作成する。	分布図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
30	報告書製作５	報告書の体裁及び章立てなどの説明を行い、文章を実際に書いてみる。	遺物、分布、遺構の記述を行い、レポートとして提出する。	60

令和3年度

科目名	日本の考古学	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	會田　容弘		
開講期	通年		
授業概要	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。東北大学では中沢目貝塚の発掘と報告、奥松島縄文村歴史資料館では里浜貝塚の発掘調査と報告書作成をおこなってきた。その経験と研究成果を用いて、先史時代における考古資料を用いた人間の動作連鎖の復元研究の方法を提示する。具体的な研究例として宮城県東松島市里浜貝塚の調査成果を用いる。里浜貝塚からは石、粘土、鹿角などの様々な素材を用いた物質資料が出土している。資料の観察だけでなく、製作実験を行うことで、資料の技術的理解を深めることができる。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 位置付け・水準CS2105☒		
達成目標	＜到達目標＞貝塚出土資料分析の過程を理解し、実践的な調査を行うに十分な知識をもつレベルに到達すること。単位認定の基準は授業内容を7割以上理解していることが望まれる。ディプロマポリシーとの関係：専門的知識・研究能力		
受講資格	考古学の基本理解があること	成績評価 方法	レポートと授業への主体的参加度合を加味して評価する。100点を満点とし、60点以上で合格とするがが、考古学で論文を作成する学生には80％以上の授業理解を求める。
教科書	授業中に紹介する		
参考書	里浜貝塚Ⅰ～Ⅸ　東北歴史博物館　里浜貝塚－平成９～１２年度発掘調査概報－『松島湾の縄文カレンダー　里浜貝塚』「展望　考古学動作連鎖研究の社会的効用－遺跡博物館での活用法－」『考古学研究』第64巻第4号pp.31-35(2018.3)「縄文土器の動作連鎖一笹山原遺跡No.16の資料分析を通して一」『福島考古』第59号pp.1-14（柿沼梨沙と共著）（2017.11.20）		
学生への要望	参考書を読み、予習・復習を行い授業に参加すること。ノートをまとめておくこと。授業で用いたパワーポイントは「めばえ」で公開するので、復習に用いること。		
オフィスタイム	火曜日3時限目、水曜日２・４時限目。☒ 時間がある限り対応するが、論文に関する質問については事前にメールでアポをとり、質問内容を知らせること。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	里浜貝塚の位置と環境	里浜貝塚の位置と環境、周辺遺跡について。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
2	里浜貝塚研究史	里浜貝塚の研究の歴史。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
3	里浜貝塚の発掘（1）	里浜貝塚里・西畑・寺下囲地点の調査結果	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
4	里浜貝塚の発掘（2）	里浜貝塚台囲地点の発掘調査。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
5	里浜貝塚の発掘（3）	里浜貝塚畑中・梨木地点の発掘調査。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
6	里浜環境史	泥炭層の植物遺体、花粉化石の分析による周辺環境の変遷史。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
7	縄文時代の前期・中期の里浜	縄文時代の前期・中期の里浜の集落、墓城、貝塚のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
8	縄文時代後期の里浜	縄文時代後期の里浜の集落、墓城、貝塚のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
9	縄文時代晩期、弥生時代の里浜貝塚	縄文時代晩期、弥生時代初等の集落、墓城、貝塚、製塩炉、浜辺の利用のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
10	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(1)	漁労活動。猟具と対象魚。採集対象魚。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
11	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(2)	狩猟対象鳥獣と狩猟具。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
12	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(3)	採集対象植物と植物加工具	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(4)	漁労具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
14	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(5)	狩猟具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
15	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(6)	植物加工具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
16	里浜貝塚の発掘（1）	里浜貝塚の平成８年度の発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
17	里浜貝塚の発掘（2）	里浜貝塚平成９年の発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
18	里浜貝塚の発掘(3)	里浜貝塚の平成１０年発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
19	里浜貝塚の発掘（4）	里浜貝塚の平成１１年発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
20	里浜人の土器作り（１）	里浜貝塚出土の土器を観察し、その作り方、文様施文方法などを動作連鎖に基づいた仮説を作る。	仮説をレポートにして提出する。	60
21	里浜人の土器作り（２）	仮説に基づいた土器製作実験計画を立てる。	仮説を発表し、議論する。	60
22	里浜人の土器作り（３）	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
23	里浜人の土器作り（４）	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
24	里浜人の土器作り（５）	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
25	里浜人の石器作り（１）	石器石材の検討を行う。	縄文人の石器石材について笹山山原遺跡と比較してみる。	60
26	里浜人の石器作り（２）	石の割れの基本的理解。実験的に製作した石器を観察し、割れ面の理解を深める。	実験製作品を観察し、記述する。	60
27	里浜人の石器作り（３）	石器製作における加撃法、加撃具と残された痕跡の比較を行う。	加撃法・加撃具の明らかな実験石器と里浜貝塚出土遺物との比較を行い、レポートにする。	60
28	里浜人の石器作り（４）	縄文晩期前半の里浜集落の遺跡構成と生業と遺物（２）	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
29	里浜人の石器作り（５）	実際に実験的に石器を製作してみる。	自分で作った石器について、記述してみる。	60
30	里浜人のモノつくりのまとめ	モノつくりの理解と動作連鎖の考え方を説明する。	実験研究をまとめ、何が理解できたかをまとめて提出する。	60

令和3年度

科目名	中国の歴史と文化	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	渡部　東一郎		
開講期	通年		
授業概要	中国古代から近現代に至る、様々な思想やその歴史的展開を学ぶことを通して、日本はもちろん、東アジア諸国の文化や社会の形成に多大な影響を及ぼしてきた中国文化について理解を深めるとともに、自ら思考する力、複眼的なものの見方を身に付ける。☒ なお、提出してもらったレポートはコメントを付して後日返却する。☒ 位置づけ・水準 CS2106		
達成目標	①中国における様々な思想やその歴史的展開について知見を深める。☒ ②自ら思考すること、複眼的なものの見方ができる。☒ 単位認定の最低基準は、内容の7割を理解していること。☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：1), 2)		
受講資格	専攻科☒ 文化学専攻 1 年	**成績評価** **方法**	①前期・後期のレポート：各40点☒ ②出席・受講態度：20点
教科書	湯浅邦弘 編著『概説 中国思想史』(ミネルヴァ書房 3,300円)		
参考書	授業内で必要に応じて指示する。		
学生への要望	「学んだ上で自ら考える」積極的な姿で受講してほしい。		
オフィスタイム	火曜日 4 限の教務部非常勤控室。授業終了後。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の目標と流れについて説明する。	授業の目標と流れについて確認する。	30
2	第1章　春秋戦国時代・秦代	1．諸子百家の時代　2．儒家と墨家：「顕学」の思想集団	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
3	第1章　春秋戦国時代・秦代	2．儒家と墨家：「顕学」の思想集団(続き)	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
4	第1章　春秋戦国時代・秦代	3．道家：文明批判と本源の追求	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
5	第1章　春秋戦国時代・秦代	4．思想家群像：陰陽家・名家・法家	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
6	第1章　春秋戦国時代・秦代	5．法家と秦帝国：法治体制の提唱	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
7	第2章　前漢	1．草創期の模索	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
8	第2章　前漢	2．儒教国教化	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
9	第2章　前漢	3．儒教統制下の諸問題	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
10	第3章　後漢	1．後漢の復興と儒教　2．経学の総合化	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
11	第3章　後漢	3．批判精神の系譜　4．後漢の衰退と諸思想	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	第4章　魏晋南北朝・隋唐	1.「貴無」、「崇有」：魏晋時代の思想	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
13	第4章　魏晋南北朝・隋唐	2.「玄儒文史」と仏教・道教：東晋・南北朝時代の思想	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
14	第4章　魏晋南北朝・隋唐	3. 儒仏道三教の鼎立：隋唐時代の思想	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
15	第4章　魏晋南北朝・隋唐	4. 魏晋南北朝・隋唐時代の科学技術と思想	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
16	第5章　宋代	1. 近世の始まり　2. 儒教の復興	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
17	第5章　宋代	3. 儒教の発展　4. 仏教と道教の展開：禅宗、玉皇大帝、『悟真篇』	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
18	第5章　宋代	5. 朱子学の成立：朱熹	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
19	第5章　宋代	6. 南宋儒教の展開：思想家列伝	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
20	第6章　元代	1. 元朝という多民族国家　2. 許衡による朱子学の復興	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
21	第6章　元代	3. 呉澄による朱子学と陸学の折衷　4. 許衡と呉澄に対する後世の評価	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
22	第7章　明代	1. 明初の経学と性理学：朱子学の官学化	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
23	第7章　明代	2. 陽明学の成立：「良知心学」の世界	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
24	第7章　明代	3. 陽明学派の思想家たち：講学活動の隆盛	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
25	第7章　明代	4.「三教一致」と明末の諸思想	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
26	第8章　清代	1. 清初の社会と思想　2. 考証学の世界	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
27	第8章　清代	3．漢宋の対立から調和へ　4．清末の思想：「漢学」から「国学」へ	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
28	第9章　近現代	1．西洋の衝撃　2．儒教の再解釈と進化	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
29	第9章　近現代	3．東アジアにおける「知」の連鎖　4．共和国の希求	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60
30	第9章　近現代	5．新文化運動とマルクス主義の受容	予習では教科書の授業で学ぶ範囲について一通りに目を通し、復習ではノートを参照しながら教科書を読み直すこと。	60

令和3年度

科目名	ドイツの歴史と文化	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	桑野　聡		
開講期	通年		
授業概要	ドイツをテーマに、ヨーロッパ地域の生活・文化の特色を歴史学的に考察する。短期大学時代の西洋史概説の知識を踏まえて大学３・４年生らしいゼミ形式での授業方法を取ることで、学生各自の歴史学的基礎力の強化を目指したい。 ☒ 　今年は19世紀後半以降のドイツ美術と日本の関係に着目し、テキスト講読によって、用語の暗記を目的とした学習ではなく、実証と理論を重視する基本姿勢も習得に努める。 □学生は単元毎に要約を発表し、議論することで、各自の理解をフィードバックする。　CS2107☒ ☒		
達成目標	テキストを読み解く思考力と討論する力を身につける。担当課題をきちんと行い、質疑応答が出来ることを最低基準とする。 □ディプロマ・ポリシーとの関係：　専門知識・研究能力		
受講資格	専攻科文化学専攻　学生	**成績評価** **方法**	毎回の講読と議論（50%）・担当箇所のレジュメ作成と発表(50%)
教科書	野村優子『日本の近代美術とドイツ－『スバル』『白樺』『月映』をめぐって』九州大学出版会　2019年		
参考書	適宜紹介する。		
学生への要望	きちんとテキストを読み込み、授業時の議論に積極的に参加する姿勢を求めます。		
オフィスタイム	火曜Ⅰ限（8:50～10:20）・金曜Ⅴ限目（16:10～17:40）　考古学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	本授業の計画を確認し、各自の課題を確認する	テキストを購入し、西洋史の概説の知識を確認する。	60
2	プロローグ①	テキストの「はじめに」と「おわりに」を読んで、著者の意図を確認すると共に、テキストクリティークとして資料を読む上での基本姿勢を確認する。	著者のプロファイリングがテキスト理解とどのように関係するのかを考える。	60
3	プロローグ②	明治~大正、昭和初期の日本の美術について確認する。	美術史や日本史の知識を確認しておこう！	60
4	講読１-①	序章　第1節「高村幸太郎「緑色の太陽」を出発点として」を講読。	担当者はレジュメを作成して発表準備をするが、それ以外の学生も発表者をサポートする意識で必ず通読してくること。	120
5	講読１-②	序章　第2節「近代日本とドイツ」を講読	同上	120
6	講読１-③	序章　第2節「ドイツ留学」を講読	同上	120
7	インターミッション①	序章を振り返って、討論を行う。	明治・大正期の外国留学について考える。	120
8	講読2-①	第1章　第1節「緑色の太陽」を講読	担当者はレジュメを作成して発表準備をするが、それ以外の学生も発表者をサポートする意識で必ず通読してくること。	120
9	講読２-②	第1章　第2節「明治末期の美術界と文学界」を講読	同上	120
10	講読２-③	第1章　第3節「日本近代美術批評の誕生」を講読	同上	120
11	インターミッション②	第1章を振り返り、日本の近代化と美術について討論する。	当時の日本にとってのヨーロッパ文明について考えてみる。	120
12	講読３－①	第２章　第1節「ドイツ美術批評家への憧れ」を講読	担当者はレジュメを作成して発表準備をするが、それ以外の学生も発表者をサポートする意識で必ず通読してくること。	120
13	講読３-②	第2章　第2節「マイアー＝グレーフェの『近代芸術発展史』」を講読	同上	120
14	講読３-③	第2章　第3節「「美術著述家」Kunstschriftsteller」を講読	同上	120
15	インターミッション③	第2章の内容を振り返り、ドイツの学問的影響について考える。	フランス美術の技術的影響とは別の影響についt考える。	120
16	後期ガイダンス	前期のテキスト講読を振り返り、後期の授業の進め方を確認する。	夏休みを挟んで、振り返りを行うことが重要。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
17	講読4-①	第3章　第1節「『白樺』のドイツ近代美術受容」を講読。	担当者はレジュメを作成して発表準備をするが、それ以外の学生も発表者をサポートする意識で必ず通読してくること。	120
18	講読４-②	第3章　第2節「『白樺』のゴッホ受容」を講読	同上	120
19	講読4-③	第3章　第3節「マイアー＝グレーフェの「ゴッホ論」」を講読	同上	120
20	講読4-④	第3章　第4節「武者小路実篤のゴッホ論」を講読	同上	120
21	インターミッション④	第3章を振り返り、ゴッホについて討論する。	自分のゴッホ観を整理してみよう！	120
22	講読5-①	第4章　第1節「1910年代美術雑誌に見るドイツ美術受容」を講読	担当者はレジュメを作成して発表準備をするが、それ以外の学生も発表者をサポートする意識で必ず通読してくること。	120
23	講読5-②	第4章　第2節「近代日本の前衛美術受容」を講読	同上	120
24	講読5-③	第4章　第3節「恩地孝四郎の抽象木版画とカンディンスキー」を講読	同上	120
25	インターミッション⑤	第4章を振り返り、カンディンスキーや「青騎士」について討論する	抽象絵画について考えてみる。	120
26	講読6-①	終章　第1節「「生の芸術」論争と「絵画の約束」論争」	担当者はレジュメを作成して発表準備をするが、それ以外の学生も発表者をサポートする意識で必ず通読してくること。	120
27	講読6-②	終章　第2節「「美術著述家」およびドイツ美術受容者の再評価」	同上	120
28	講読6-③	終章　第3節「1910年代ドイツ美術受容の終焉」を講読	同上	120
29	インターミッション⑥	終章を振り返り、ドイツ美術の日本への影響を討論する。	哲学・思想のドイツ的影響との関係を考える。	120
30	まとめ	授業を振り返り、日本とドイツ、ヨーロッパの関係を考える。	ドイツの旅を計画してみよう。	60

令和3年度

科目名	フランスの歴史と文化	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	斎藤　美保子		
開講期	通年		
授業概要	①資料の輪読とスライドでの美術鑑賞を通し、19世紀後半から20世紀に至るフランスと日本の美学的交流史をたどる。☒ ②夏休みの課題はレポートと口頭発表であり、美術館見学等の報告もその都度、ディスカッションしながら評価を伝える。CS2108		
達成目標	①フランス近代の美術と文学の代表作を理解し鑑賞できる。☒ ②フランス19～20世紀美術史の大まかな流れが理解できる。☒ ③フランスと日本の関係を、文献等を使って調べることができる。☒ 単位認定の最低基準：授業内で扱った日仏の文学、美術について、歴史的に説明できること。☒ DPとの関係：専門知識、研究能力		
受講資格	専攻科１年生☒ 生涯学習講座受講生	成績評価 方法	授業中の輪読と質疑応答（30点）、夏休みのレポートと発表（20点）、論述式の学年末試験（50点）☒ 60点以上で合格だが、80点以上を目標とする
教科書	拙論の抜き刷り等、授業内で配布する。		
参考書	ジョン・リウォルド著、三浦篤・坂上桂子訳『印象派の歴史』角川書店　三浦信孝編『近代日本と仏蘭西』大修館書店		
学生への要望	輪読で読解力をつけること。　☒ 広くフランスの歴史と文化、美術に関心を持つこと。☒ 論理的な議論とレポートの作成を心がけること。☒ 週末や冬休みに時間を見つけて、近隣の美術館の展示を見学すること。		
オフィスタイム	火曜日16:00-17:00　金曜日10:30～11:30　研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	教師と学生の自己紹介。今年度のテーマ「☒ランスと日本の近代文化史」を概説し、授業の進め方、成績評価などを説明する。参考文献を指示する。☒表を作成しながら、19世紀のフランス史の概要を理解する。	参考文献を探し、目を通す。フランスのニュースや文化に注意する。	90
2	アングル	拙論「アングルの女性像」を読み、19世紀ファッションを理解する。	拙論を読み込む。	90
3	ドラクロワ	拙論「アングルとドラクロワのパガニーニ像」を読み、新古典主義とロマン主義を理解する。	拙論を読み込む。	90
4	第1回パリ万博（1855年）	芸術の国、フランスを強調する博覧会で、アングル、ドラクロワの回顧展が開かれたことを理解する。	画集等でアングルとドラクロワの作品について調べる。	90
5	写実主義	産業革命が進み、都市の労働者が増えることによって社会が大きく変化した。それに伴って、写実主義の美術が生まれたことを理解する。	画集等でクールベ、ミレーについて調べる。	90
6	第2回パリ万博（1867年）	ナポレオン三世の治世下で、華やかな文化外交が行われていたことを理解する。	ナポレオンⅢのウージェニー皇妃のファッションについて調べる。	90
7	徳川昭武と渋沢栄一	徳川幕府の代表として徳川昭武ら武士が渡仏し、ナポレオン三世、ヴィクトリア女王等と交流した意味を理解する。	鹿島茂の著書等で、渋沢栄一について調べる。	90
8	ジャポニスム	フランスを中心にヨーロッパで広まった日本美術愛好を理解する。	西洋絵画と日本画の違いを実践する。	90
9	第1回ウィーン万国博覧会（1873年）	明治政府として富国強兵のために日本美術を展示したこと、その帰路の難破で美術品を失ったこと、ビクトリア女王の援助で国立博物館の開館に至った経緯を理解する。	クリストファー・ドレッサーについて調べる。	90
10	第3回パリ万国博覧会（1878年）	気球遊覧飛行が人気を集めた博覧会の時代は、印象派の発展期でもあった。印象派の絵画とジャポニスムについて理解する。	印象派の画家、特にモネの浮世絵収集について調べる。	90
11	第4回パリ万国博覧会（1889年）	万博のシンボルとして建てられたエッフェル塔について理解する。サミュエル・ビング編『芸術の日本』（1888～1891）の概要を理解する。	橋梁設計家エッフェルと、同時期の鹿鳴館スタイルを調べる。	90
12	第5回パリ万国博覧会（1900年）	アール・ヌーヴォーの勝利と言われた19世紀末の万博と、そこに集まった各国の政治状況について理解する。	ミュシャについて「みんなのミュシャ展」で鑑賞した作品を思い出し、詳細を調べる。	90
13	第5回パリ万国博覧会（1900年）以降の浅井忠	拙論「浅井忠における洋行の美学」を輪読し、意見を交換する。	画集等で浅井忠の代表作を理解する。	90
14	第5回パリ万国博覧会（1900年）以後の夏目漱石	夏目漱石が万博観物のためにロンドン留学途中に滞在したパリでの様子を、日記等から理解する。	夏目漱石の短編を読む。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	前期のまとめと夏休みの課題指示	ここまでの授業の復習と質問への回答をして、夏休み中のレポートを支持する。	課題設定、調査、論考、レポート作成。	600
16	夏休み課題の提出と口頭発表	パワー・ポイントを使って、夏休みの課題を発表する。	パワー・ポイントでの発表資料作成。	180
17	口頭発表　つづき	パワー・ポイントを使って、夏休みの課題を発表する。	読み上げ原稿作成。	180
18	口頭発表　つづき	パワー・ポイントを使って、夏休みの課題を発表する。	仲間の発表に質問し、理解する。	90
19	フランスの地理と歴史	地図と年表を使って、フランスの地理と歴史の基礎を理解する。	課題設定、調査、論考、パワー・ポイントの発表資料作成	90
20	修了生のレポート１	１期生「ロココ様式におけるシノワズリー」☒ ２期生「ランスの都市と大聖堂について」☒ ３期生「日本で見られるモネの絵画−この100年の蒐集成果−」☒	先輩の書論文のコピーを読み込む。	90
21	修了生のレポート２	５期生「スペインの画家ゴヤとフランス」☒ ９期生「聖ミカエルの美術史ー出現からカトリック絵画までー」☒ 10期生「ルドゥーテの薔薇」	先輩の論文のコピーを読み込む。	90
22	修了生のレポート３	11期生「フローラの美術史」☒ 13期生「ネコの描かれた西洋美術の変遷」☒ 17期生「サルバドール・ダリにおける核開発」☒ ☒	先輩のレポートのコピーを読み込む。	90
23	ターナーと夏目漱石	夏目漱石が愛したターナーについて理解し、郡山市立美術館収蔵作品を鑑賞する。	郡山市立美術館見学	300
24	パリ装飾美術博覧会（1925年）	アール・デコの様式的特徴とその盛衰を理解する。	ルネ・ラリックについて調べる。	90
25	朝香宮邸	我が国におけるアール・デコの代表的建築、旧朝香宮邸（現在、東京都立装飾美術館）を鑑賞、理解する。	天鏡閣を見学する。	300
26	高浜虚子の洋行	拙論「高濱虚子の洋行　ロンドンでの絵画鑑賞を追体験する」を輪読する。	資料を読み、画集で作品を鑑賞する。	90
27	ゴッホの作品に見る日本絵画の影響	ゴッホの絵画が我が国に及ぼした影響を理解する。	美術館情報を集め、ゴッホの作品に親しむ。	90
28	フランスの美術館	ルーヴル美術館、オルセー美術館、ブールデル美術館、リヨン美術館、マルセイユ美術館、アヴィニョン等を紹介する。	興味を持った美術館のHPを調べる。	90
29	フランスの文学、映画	19世紀ロマン派の文学、20世紀フランス映画を紹介する。	興味を持った映画のCDを見る。	120
30	総まとめと試験の指示	一年間の授業の総まとめをし、発表および提出物の講評をする。☒ 記述式の試験の指示をする。	一年間を振り返り、心ゆくまで復習をする。	300

令和3年度

科目名	日本女性史	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	知野　愛		
開講期	通年		
授業概要	日本の近現代女性史において、様々な分野で道を切り拓いた女性達の活躍が見られるが、その生涯や果たした役割、社会的背景等を考察する。具体的には、明治初年から昭和30年代頃における教育・労働・福祉・医療・看護等の諸分野の女性先駆者達の生涯や功績、歴史的位置づけを考察する。最終授業で課題全体に対するフィードバックを行う。☒置づけ・水準:CS2110		
達成目標	授業目標は、様々な女性先駆者達の足跡をたどることで現在私達が置かれている状況や位置づけを考え、課題達成のための方策などについて示唆を得ることを目標とする。達成目標は、各自が1つテーマを決めて資料調査し、独自の視点でレポートにまとめ提出し発表することである。単位認定の最低水準:内容の8割を理解していること。ディプロマ・ポリシーとの関係:1)専門的知識、2)研究能力		
受講資格	文化学科専攻科文化学専攻１年生	**成績評価** **方法**	レポート(半期に1回、通年2回)50点×2＝100点
教科書	資料を配布する		
参考書	『日本近現代女性史』阿部恒久・佐藤能丸著、芙蓉書房出版他☒ ☒		
学生への要望	授業で扱ったテーマの人物や事柄について関連書籍を読み検索するなど、各自で理解を深化させる。 ☒		
オフィスタイム	(Ⅰ期)水曜Ⅱ限、金曜Ⅱ限、(Ⅱ期)月曜Ⅱ限、木曜Ⅱ限。 地域創成学科No.1研究室(芸術館1階)		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の進め方と概要の説明	授業の進め方と講義の内容についてシラバスに基づき説明する。明治時代の女性達に関する映像を見て、授業の導入とする。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
2	明治維新前後の女性・義務教育の発足(1)	明治維新前後の女性史を概観する。「学制」の発布と、女子の就学率等の状況を理解する。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
3	明治維新前後の女性・義務教育の発足(2)	明治期の女子教育の歴史を概観し、裁縫の義務化、子守学級の特設、高等女学校令の制定、それに続く私立女学校の設立状況を学ぶ。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
4	明治期の教育と女性(1)	津田梅子の生涯に焦点をあて、明治初期の女子教育、帰国後の足跡、女子教育史上果たした役割等を学ぶ。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
5	明治期の教育と女性(2)	山川捨松の生涯に焦点をあて、明治初期の女子教育、帰国後の足跡、女子教育史上果たした役割等を学ぶ。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
6	明治期の教育と女性(3)	明治期に渡米し結婚し、後にベストセラー作家となった女性、杉本鉞子の生涯に焦点をあて、当時の結婚観、国際交流等について学ぶ。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
7	欧化主義と風俗習慣への影響	極端な欧化主義と風俗習慣への影響について資料に基づいて考察する。　☒	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
8	西洋的良妻賢母主義教育の展開	西洋的良妻賢母主義に注目し、その根拠や背景について考え、女子英学塾・東京女医学校・日本女子大学校の設立など、女子教育史を辿る。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
9	医療の分野で活躍した女性たち(1)	女医第一号とされる荻野吟子の生涯を辿り、その他にも医療分野で活躍した女性達の生涯を辿り、社会的背景を考える。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
10	医療の分野で活躍した女性たち(2)	女性医師の輩出に尽力した女性たちの生涯を辿り、社会背景を考える。吉岡弥生の教育思想・生涯に注目する。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	看護分野で活躍した女性達・まとめ	看護の分野で活躍した女性たちの生涯と社会的背景を考察する。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
12	福島県出身の女性先駆者達	福島県内出身の看護分野で活躍した女性達の足跡をたどり、社会的背景を考える。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
13	医療と看護の分野で活躍した女性達	ここまでのまとめ、女性先駆者たちの流れを振返る。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
14	レポート作成	授業で扱ったテーマの中から一つを選び、レポートを作成し締切日までに提出する。システムめばえmocaに提出する。	レポートのテーマを選定し参考文献を探し、レポートを作成する。	60
15	レポート発表・質疑応答	各自が提出したレポートについて発表し、質疑応答をする。Mocaへ提出したレポートに対してコメントをつけてフィードバックする。	復習：レポート作成、発表後に生じた疑問点などを調査検索する。予習:次回のテーマについて検索するなど事前調査する。	60
16	婦人束髪会の設立	婦人束髪会設立とその背景、設立者達の意図と束髪の変遷、女性たちの受容課程等を調べ、レポートを作成し提出、全員が発表する。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
17	『青鞜』の創刊	『青鞜』創刊の背景、母性保護論争について、与謝野晶子、平塚らいてうがどのような論争を繰り広げたのかを資料から考察する。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
18	文化生活の到来	『文化生活研究』の創刊、米騒動、地域婦人会と生活改善、婦選運動などに着目し、文化生活とはどのようなものであったのかを考える。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
19	大正期の女性の生活	教育の普及、職業婦人の増加、その様々な職業の成り立ちと当時の社会状況などについて学び、大正期の女性の生活と文化を考える。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
20	文化生活と生活の合理化	文化住宅の出現、安部磯雄の台所観など、簡素化・倹約化を基本とした生活改善について調べ、生活の合理化としてどのような側面から推進されたのか考える。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
21	婦人保護事業に尽力した女性達	婦人保護事業に関わった女性達の生涯に注目し、それぞれの果たした役割や意義について考える。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
22	中間まとめと補足	ここまでの流れを振り返り、補足する部分があれば資料等を配布し説明する。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
23	女子教育に尽くした人々(1)	女子教育の草創期に尽力した人々の生涯を辿る。安井てつの生涯を取り上げ、果たした役割・意義について考え、女子教育の時代的な流れをとらえる。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
24	女子教育に尽くした人々(2)	女子教育の草創期に尽力した人々の生涯を辿る。河井道の生涯を取り上げ、果たした役割・意義について考え、女子教育の時代的な流れをとらえる。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
25	社会福祉事業と女性(1)	社会福祉事業に尽くした数名の女性達の生涯を資料から学び、社会的背景を考察する。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
26	社会福祉事業と女性(2)	日本の保育事業の創始に関わった人々の生涯を考え、日本初の保育所創設者の生涯、設立の背景、その後の保育所事業の展開について資料から学び、意義を考える。	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
27	保育事業と女性	保育事業に尽力した数名の女性達の生涯に注目し、その社会的背景や保育史上の位置づけを考察する。	復習：資料を読み疑問点を調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する言葉を検索するなどして調べる。	60
28	各分野の女性先駆者達	これまでの授業の振返り。女性先駆者達の生涯や足跡、功績、果たした役割、社会的背景等を年表等の資料から確認する。概観した後に、最終レポートとして、各自が興味を持った人物１人を選び、果たした役割・歴史的位置付け等を調べレポート作成し提出する。☒	復習：資料を読み疑問点などを調べる。課題が出た場合は次回提出。予習：次回テーマに関連する文献を読んだり検索するなどして調べる。	60
29	レポート作成	授業で扱ったテーマの中から一つを選び、レポートを作成し締切日までに提出する。システムめばえMocaに提出する。	レポートのテーマを選定し参考文献を探し、レポートを作成する。	60
30	レポート発表・質疑応答	各自が提出したレポートについて発表し、質疑応答をする。提出したレポートに対しコメントをつけフィードバックする。	復習：レポート作成、発表後に生じた疑問点などを調査検索する。	60

令和3年度

科目名	日本宗教の歴史と文化	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	福島　寅太郎		
開講期	通年		
授業概要	〔授業の目的・ねらい〕☒ ①文化学専攻の学生として必要な文化知識を習得させること。☒ ②幅広い専門知識を養わせること。☒ ③文献の読解および扱い方に必要な基礎力を高めさせること。☒ 〔授業全体の内容の概要〕☒ 　この授業は、末木文美士氏の『日本宗教史』（岩波新書）を教科書として使い、毎回輪読をし、日本宗教の歴史と文化を学ぶ。新書版だから、読みやすいというイメージがあるが、実際に読んでみると読めない言葉、わからない用語が多々ある。一字一句を声を出して読むという読書の経験が少なくなってきた今日では、一冊の本を時間をかけてじっくり読むという姿勢が珍しいと思われるかも知れないが、必要なことであり、学ぶという本来あるべき姿勢だと考える。なお、後期の概要については改めてお知らせする。☒ 授業時の質疑応答やレポートの返却等によってフィードバックを行う。☒ 位置づけ・水準:CS2201		
達成目標	〔授業終了時の到達目標〕☒ 　①文化としての宗教を理解する。☒ 　②日本の歴史における宗教の影響とその役割を学び、日本文化の総合的な理解を目指す。☒ 　③紹介された諸事例について学問的な理解をする。☒ 　単位認定の最低基準は:は「内容の7割以上を理解していること」☒ 　DPとの関係: 研究能力、研究課題		
受講資格	短大専攻科２年	**成績評価** **方法**	試験成績60点、授業における発表20%、授業における参加態度20%など。理解度８割で、合とする。
教科書	『日本宗教史』、末木文美士著。岩波新書、2006年。丸善などの書店で買い求めることが出来る。		
参考書	末木文美士『日本宗教史』、岩波新書。担当教員個人が持っているが、授業でよく参考にするので、できればそれぞれが一冊を購入することをおすすめする。		
学生への要望	・授業に積極的に参加すること。☒ ・ノートをこまめにとること。		
オフィスタイム	月曜日１６時～１７時。担当教員の研究室（創学館No.５）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	各回の内容や計画、成績評価の方法などについて説明するほか、教科書のことや参考文献購入のことについても話す予定ですので、必ず出席してください。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
2	日本宗教史とはなにか	これまで日本史の立場に日本宗教史の研究が多かったが、宗教学独自の視点によるものはあまりないようである。宗教学独自の「日本宗教史」は可能か。これまでの議論を踏まえつつ考えてみる。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
3	記紀神話の世界	古事記や日本書紀に伝えられている神々の構造を分析し、記紀時代の神話はいったい何を意味するのかを考える。丸山真男の「古層」の問題も話題にする予定である。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
4	神と仏	仏教の伝来と神々の変容、神仏習合の諸相などについて、指定された教科書を一緒に読みながら、理解する。神話から歴史への移行に見られる宗教の役割を考えることも課題として予定されている。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
5	神仏論の展開	これまでの話を踏まえ、中世の神仏論の展開を考えてみる。具体的には、実践しそうとしての仏教思想、王法と仏法との関係を取り上げて話題にする。『日本霊異記』を参考しながら授業を進める予定で☒ ある。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
6	神仏と中世（１）	習合神道の理論や中世的思惟と神仏の関係を具体的に取り上げて話題にする予定である。また、鎌倉新仏教の「新」にも注目し、中世の神仏論の展開を総合的に理解することを目指している。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
7	神仏と中世（２）	習合神道の理論や中世的思惟と神仏の関係を具体的に取り上げて話題にする予定である。また、鎌倉新仏教の「新」にも注目し、中世の神仏論の展開を総合的に理解することを目指している。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	世俗と宗教（1）	キリシタンと権力者崇拝、宗教統制と権力者崇拝、儒教のイデオロギー、宗教と世俗倫理などを取り上げて話題にする予定である。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
9	世俗と宗教（2）	キリシタンと権力者崇拝、宗教統制と権力者崇拝、儒教のイデオロギー、宗教と世俗倫理などを取り上げて話題にする予定である。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
10	神道とナショナリズム（1）	近世の神道の展開などを話題にしながら、「神儒」や「神仏」および「国学」、国家神道の問題を考えてみる。本居宣長の「古層」発見の方法や神道イデオロギーの問題にも注目してみたい。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
11	神道とナショナリズム（2）	近世の神道の展開などを話題にしながら、「神儒」や「神仏」および「国学」、国家神道の問題を考えてみる。本居宣長の「古層」発見の方法や神道イデオロギーの問題にも注目してみたい。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
12	近代化と宗教（1）	国家神道と他の諸宗教の関係を考える。神仏分離から国家神道、キリスト教と国家（内村鑑三事件をの波紋）精神主義の提唱者である清澤満之を具体的に取り上げてみることにしたい。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
13	近代化と宗教（2）	国家神道と他の諸宗教の関係を考える。神仏分離から国家神道、キリスト教と国家（内村鑑三事件をの波紋）精神主義の提唱者である清澤満之を具体的に取り上げてみることにしたい。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
14	民衆宗教の形成	前半は新宗教の誕生、戦後宗教の消長を概観する。後半は「宗教」という概念の生成の背景に注目しつつ、宗教とはなにか、宗教史とは果たして可能かを総括的に考えてみる予定である。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
15	前期のまとめ	レポートを書いて提出する。		1.5
16	後期のガイダンス	絵画に見る「天神さま」について		1.5
17	天神信仰における東福寺の位置づけについて	東福寺における天神信仰の伝承を探る	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
18	天神像の変容について	怨霊信仰から学問の神様への「変身」についての歴史的な過程をたどる	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
19	怨霊信仰と天神信仰について	先行研究の紹介とその問題点について探る	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
20	天神信仰と陰陽道について	陰陽道の動向を視野に入れつつ、天神信仰の展開をさらに探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
21	梅と天神信仰	菅原道真像を手がかりに梅と天神の変容のあり方を探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
22	北野天満宮をめぐる諸問題	担当者の実地調査を踏まえつつ、北野天満宮の実体と天神信仰の変容について探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
23	学問の神様としての菅原道真像の形成	学問の神様としての菅原道真像の形成とその確立について探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
24	天神信仰の広がりについて	天神信仰の地方への広がりについて具体的な事例を取り上げて述べる。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
25	東北地方における天神信仰	東北六県における天神信仰の実体を写真などを通じて探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
26	会津地方における天神信仰の特徴	学問の神様へと変容された会津地方の天神信仰の実体とその特徴について探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
27	庶民信仰としての天神信仰	地域の人々が天神信仰とどのように関わっているかを市町村の関連資料を基に探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
28	天神信仰の現在ー地方神社における合格祈願を手がかりにー	神社と天神信仰の関係について、会津地方の事例を手がかりに探る。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
29	まとめ～その①天神信仰の宗教性と歴史的性格	まとめに当たって、天神信仰の宗教性と歴史性、地方的特徴について考える。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
30	まとめ～其の②天神信仰の宗教性と歴史性	前回と同じ。期末試験については、レポートを提出すること。詳しいことは授業で指示する。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5

令和3年度

科目名	日本古代の歴史と文化	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	會田　容弘		
開講期	通年		
授業概要	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。考古学的な方法により書かれた通史である奈良文化財研究所編『日本の考古学』をテキストにして、具体的な事例を補いながら授業を進める。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 ☒ 位置付け・水準：CS2202		
達成目標	＜到達目標＞日本原始・古代史の最新の考古学的成果の理解し、それについて説明ができるレベルにまで到達できること。単位認定の基準は授業内容を7割以上理解していることが望まれる。ディプロマポリシーとの関係：研究能力と研究課題☒		
受講資格	考古学・古代史の基礎理解があること	**成績評価** **方法**	授業への参加度を平常点とし、課題レポートを課す(平常点30%、レポート70%)。　授業の60%以上の理解が必要である。考古学で専攻科論文を作成する学生は80%以上の理解が必要である。
教科書	奈良文化財研究所編『日本の考古学』上下(学生社) ☒		
参考書	講義中に紹介する。		
学生への要望	授業の前に教科書を熟読し、わからない点などを確認し、ノートを作成すること。復習には授業時の内容をノートにまとめておくこと。		
オフィスタイム	火曜日3時限目、水曜日２・４時限目。考古学研究室または考古学実習室。☒ 時間があいている限り、対応する。メールの質問も可。面接が必要な場合はメールでアポをとってから質問時間を設ける。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	日本考古学・日本歴史学の時代区分	時代区分論は歴史観だけでなく、考古学の世界では新発見によって変化する。また、日本という枠組みの変化もある。日本列島の地域区分とその中の時代区分を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
2	日本列島の形成史	地質学、地形学、古環境学からみた日本列島の形成過程を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
3	旧石器時代概説	後期旧石器時代の列島に展開した石器群の全体像を把握した上で、世界的な寒冷化に適応した旧石器☒ 人の姿を見てゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
4	更新世と完新世の哺乳動物	日本では動物化石の出土がきわめて少ない。更新世において、人類遺物との共伴が認められるのは、花泉と野尻湖である。人類遺物の共伴しない石灰岩地帯から出土した化石の情報を含めて、概観する。完新世になると貝塚が形成されるので動物相と人類との関係がより明瞭になる。特に哺乳動物と人類の関係を考察する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
5	更新世と完新世の植物	植物相は泥炭層などの調査により花粉分析や大型植物遺体の研究によって具体的に議論されている。特に植物相の変化と人類の行動の変化が大きな意味を持ってくる。基本的な研究方法を理解したうえで、これまでの研究成果を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
6	東北アジアと日本の旧石器	東北アジアの中に日本の旧石器を位置付けようという解釈の試みが盛んである。それらの研究者がどのような目論見でそのような研究方向を目指すのか、その理解が必要である。そして、その方法は何か。批判的に研究をが概観したい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
7	旧石器時代の地域色、集落と集団	近年の日本旧石器研究の成果は地域性、集落が見えてきたとの理解である。どのような研究方法でそれが見えるようになったのか、そしてその見えたものはなんなのか。研究成果を批判的に理解し、新たな研究目的と方法を考えてゆきたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	縄文時代概説	縄文時代の時間的枠組み、その要素を文化史的に位置付けてみる。それが、日本考古学が蓄積してきた縄文時代研究である。そしてその中から、いくつかの問題点を抽出してゆきたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
9	縄文人	縄文文化の担い手である縄文人の形質人類学的特徴をみてゆく。さらに近年の遺伝子研究の成果から、縄文人の成り立ちについて、その後の縄文人の行方、日本人との関係まで、研究の最先端を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
10	定住と縄文文化の成立	列島内の気候及び環境変化状況を見た上で、定住生活の意味を考える。定住生活の開始期である縄文草創期の住居遺構、土器、石器について地域の多様性を見てゆく。縄文早期には列島の地域ごとに小さな環境に適応した多様な集落の様相が明らかになる。大規模な集落を形成する遺跡も最近明らかになっている。それらの具体的事例を検討しながら、縄文社会の確立する過程をみてゆきたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
11	地域間の交流、大陸との交流	ヒスイ、黒曜石など産地の限定される資料を用いて、交易の可能性を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
12	縄文時代の住居と集落	温暖化した気候の中で大規模な集落が形成されるようになる。青森県三内丸山遺跡や長野県阿久遺跡⊠ などが代表的である。集落を構成する住居・墓地・広場・貯蔵穴・廃棄場の様相を実例を検討しながら⊠ 理解を深めてゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
13	竪穴住居の構造	様々な竪穴住居の復元案が提示され、復元家屋が作られている。考古学的証拠との整合性という面からみてゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
14	縄文社会と狩猟獲得技術	縄文社会を狩猟獲得技術の面から見てゆく。それを支えた技術の姿を明らかにする。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
15	貝塚ー狩猟と漁労	貝塚研究の重要性を里浜貝塚研・中沢目貝塚などの研究を通してみてゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
16	縄文土器の年代学・型式学	松本彦七郎と山内清男の縄文土器型式学をみてゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
17	最初の土器	最古の土器研究の歴史と現在知られている最古級の土器を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
18	生活道具としての土器とその技術	縄文土器の製作技術を動作連鎖仮説と実験を通してみてゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
19	勝坂式土器様式圏と火炎土器様式圏の対立	土器型式を人間集団の特徴としてとらえる縄文土器型式学がどのような議論を行っているのかを理解する。そして、その論拠がどこになるのかを検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
20	亀ヶ岡式土器	縄文晩期特に東北地方に広がる亀ヶ岡文化についてその多様な工芸品の具体例を検討する。さらに、最近明らかになりつつある亀ヶ岡文化の集落構成について検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
21	縄文世界の土器造形とその展開	造形物としての縄文土器もその技術から明らかにする。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
22	縄文墓地	縄文時代を通して様々な墓制、埋葬法、墓域構成が見られる。時代地域の特性を具体的に見てゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
23	なぜ縄文時代は終わったのか	北海道には弥生文化が到達しなかった。続縄文文化と呼ばれる縄文時代以来の狩猟採集社会が継続して⊠ いた。東北の弥生文化との相違点を見てゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
24	縄文人から弥生人へ	形質人類学からみた縄文人と弥生人の特徴を見てゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
25	弥生時代の始まり	AMS放射性炭素年代測定法の導入により、弥生時代の開始時期が５００年これまでよりも古くなるという⊠ 仮説が提示された。その論拠を明らかにする。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
26	弥生時代概説	九州北部に導入された水稲稲作はその他にも金属器など多様な物質文化をもたらした。その結果、西日⊠ 本では水稲稲作が成長した結果、大規模な集落が形成され、さらには集落間の抗争がおこり、階級社会⊠ が発生する。その過程を西日本の遺跡をもとに検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
27	稲の起源	稲の登場は年代論と不可分である。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
28	稲作の伝播ーブタ・水田・農村	弥生時代の稲作中心の複合農業について概観し、列島内の違いをみてゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
29	弥生文化ー石器・鉄器・木器	弥生時代になって新たに登場する鉄器、経文時代以来作られてきた石器と木器。素材を同じくして新たな道具が加わる。そして失われた道具もある。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
30	青銅器の生産	九州から機内まで見られる青銅器の生産遺跡とその生産のあり方を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60

令和3年度

科目名	西洋美学史	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	斎藤　美保子		
開講期	通年		
授業概要	小田部胤久著『西洋美学史』を輪読し、古代ギリシアから19世紀末までの西洋の美学を学習する。折々に、学生の学位授与機構提出レポートのテーマに関連づけて、美について議論する。☒ 少人数教育であり、授業内およびオフィスタイムに試験やレポートに対する評価を伝達する。☒ CS2203		
達成目標	①西洋美学の大きな流れを歴史的に理解する。☒ ②西洋美学の概念、用語、及び、美学者について基礎的な知識を定着させる。☒ ③美学的な視点で歴史を考える。　☒ 単位認定の最低基準は、授業内で学んだ基本的な美学史の用語を正しく理解し、使いこなせること。☒ DPとの関係：研究能力を身につける、研究課題を適切に設定する知識を身につける		
受講資格	専攻科２年生	成績評価 方法	授業中の輪読と質疑応答（30点）、レポート「各自の美学的問題」（30点）、論述式の期末試験（40点）。☒ 60点以上が合格だが、目標は80点以上。
教科書	小田部胤久著『西洋美学史』東京大学出版会		
参考書	掛下栄一郎著『美学要説』（研究室蔵）☒ その他、授業内で指示する		
学生への要望	精読する力を付け積極的に議論すると共に、論理的な文章をまとめるように心がけること。		
オフィスタイム	火曜日16:00-17:00　金曜日10:30-11:30　研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	教師と学生の自己紹介。授業の進め方を説明する。☒ ☒	教科書を読み始める。	90
2	学生の学問的関心に関連する美学	学生個々の学問的興味関心と美学を結びつけ、参考文献をリストアップする。	図書館等で参考文献を手に取ってみる。	90
3	ギリシア美術	古代ギリシアから西洋美学史を始める導入として、古代ギリシア美術を概説する。	短大の「美術史」および専攻科の「フランスの歴史と文化」について、ノート等で復習しておく。	90
4	プラトン①	第１章「知識と芸術」を読み、プラトンの美学を理解する。☒	第1章を繰り返し読み、充分に理解する。	90
5	プラトン②	プラトンのイデア論について考察する。	プラトンのイデア論について、自分なりの考えをまとめる。	90
6	アリストテレス①	第２章「芸術と心理」を読み、アリストテレスの美学を理解する。☒	第2章を繰り返し読み、充分に理解する。	90
7	アリストテレス②	アリストテレスのカタルシスについて考察する。	アリストテレスのカタルシスについて、自分なりの考えをまとめる。	90
8	プロティヌス ①	第３章「内的形相」をみ、プロティヌスの美学を理解する。☒	第3章を繰り返し読み、充分に理解する。	90
9	プロティヌス②	プロティヌスの新プラトン主義について考察する。	プロティヌスの新プラトン主義について、自分なりの考えをまとめる。	90
10	アウグスティヌス①	第４章「期待と記憶」を読んで、アウグスティヌスの美学を理解する。☒	第4章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
11	アウグスティヌス②	自由七芸と聖歌の効用を考察する。	CDでグレゴリウス聖歌を聞いてみる。	90
12	トマス・アクィナス①	第５章「制作と創造」を読んで、トマス・アクィナスの美学を理解する。	第5章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
13	トマス・アクィナス②	ステンド・グラスの効用について考察する。	市内の教会でステンドグラスを拝見する。	120
14	ルネサンス①	『美学要説』第7章「ルネッサンス・レオナルド・ダ・ヴィンチ」を読み、初期ルネサンスの美学を理解する。	第7章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
15	ルネサンス②	『美学要説』第7章「ルネッサンス・レオナルド・ダ・ヴィンチ」を読み、盛期ルネサンスの美学を理解する。☒	第7章を繰り返し読み、充分に理解する。	90
16	ルネサンス③	遠近法（一点透視）とスフマートで表現した<最後の晩餐>の美学を検討する。	自分なりに模写を作り、その構成美を体得する。	90
17	各自の学位授与機構申請レポートのテーマと美学①	各自のテーマと同時代の西洋美学の概要を理解する。☒ ☒	各自のテーマの時代背景と比較する。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
18	各自の学位授与機構申請レポートのテーマと美学②	各自のテーマと同時代の西洋美学の概要を理解する。	各自のテーマの時代背景と比較する。	90
19	各自の学位授与機構申請レポートのテーマと美学③	各自のテーマと同時代の西洋美学の概要を理解する。	各自のテーマの時代背景と比較する。	90
20	１7世紀①	第６章「含蓄のある表象」を読み、バウムガルテンによる美学の定義、ライプニッツの美学を理解する。☒	第6章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
21	１7世紀②	第７章「方法と機知」を読み、ヴィーコの美学とバロックについて理解する。☒ ☒ ☒	美術書でバロック絵画を、CDでバロック音楽を味わう。	90
22	18世紀①	第８章「模倣と創造性」を読み、ヤングの美学、特に自然観を理解する。☒ ☒	第8章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
23	18世紀②	第９章「趣味の基準」を読み、ヤングの美学とロココ様式の関係を理解する。☒ ☒ ☒	第9章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
24	18世紀③	第10章「詩画比較論」を読み、レッシング（1729〜1781）の美学を理解する。☒	第10章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
25	18世紀④	第11章「自然と芸術Ｉ」を読み、カント（1724〜1804）の美学を理解する。☒ ☒	第11章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
26	18世紀⑤	第12章「遊戯と芸術」を読み、シラー（1759〜1805）の古典主義の美学を理解する。☒	第12章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
27	19世紀①	第13章「批評と作者」を読み、シュレーゲルの初期ロマン主義美学を理解する。☒	第13章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
28	19世紀②	第14章「自然と芸術Ⅱ」を読み、シェリング（1775〜1854）の観念論を理解する。☒	第14章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
29	19世紀③	第15章「芸術の終焉Ｉ」を読み、ロマン主義の頂点を考察する。☒	第15章を繰り返し読んで、充分に理解する。	90
30	まとめ	古代ギリシアから２０世紀までの西洋の美学史を振り返り、一年間のまとめをする。☒ 期末試験期間中に行う、論述式の試験について説明する。	ノートを整理し一年間のまとめをして、試験の準備をする。	180

令和3年度

科目名	文化史総合演習	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 必修
担当教員	福島　寅太郎		
開講期	通年		
授業概要	宗教文化史の分野でレポートを作成するめのゼミ形式の授業である。文献探索と研究の基本姿勢を習得することを目的とする。具体的には、レポートの作成を指導する。☒ 　学生の研究テーマに応じて、文献案内と学生による研究報告を行い、それによって各自のテーマの問題の所在、研究史上の問題点などを明らかにする。学説史を整理し、それらを踏まえつつ、自身の課題を解決する方法を身につけ、独自の説を見出していくことが求められる。☒ そのため、文献調査のほかに地域の図書館や神社仏閣に出向いてインタビューを行うことも予定されている。自ら問題を発見し、自ら問題を解決するいわゆる「研究力」を身につけることを求める。☒ 授業時の質疑応答やレポートの返却等によってフィードバックを行う。　☒ 位置づけ・水準　CS2211		
達成目標	研究分野に関わるテキストを自分なりに読み込んで、他の情報で補足・批判できる力の育成☒ 単位認定の最低基準は:は「内容の7割以上を理解していること」☒ DPとの関係: 論理的・創造的、社会貢献		
受講資格	専攻科２年生	**成績評価方法**	報告（50点）・授業態度・討論（50点）
教科書	特になし		
参考書	必要に応じて随時提示。		
学生への要望	与えられた課題を期限内に終え、議論に積極的に参加する姿勢を望む。		
オフィスタイム	火曜日以外の昼休み（12～12:40）創学館No.5研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	本講義の進め方を解説し、導入とする。	年間研究計画の作。	60
2	予備①	短大卒業論文の確認。	文献の引用および註の付け方を確認し、卒業論文の完成度を高める。	120
3	予備②	短大卒業論文の確認。	資料・参考文献の記載方法を確認し、卒業論文の完成度を高める。	120
4	文献案内１-①	学説史①を理解し、要点を整理する。	課題をレジュメにまとめる。	120
5	文献案内１-②	学説史①を理解し、要点を整理する。	課題をレジュメにまとめる。	120
6	文献案内１-③	学説史①を理解し、要点を整理する。	課題をレジュメにまとめる。	120
7	文献案内１-④	学説史①を理解し、要点を整理する。	課題をレジュメにまとめる。	120
8	中間発表１-①	質疑応答。	課題をレジュメにまとめる。	120
9	中間発表１-②	質疑応答。	課題をレジュメにまとめる。	120
10	中間発表１-③	中間発表の反省と総まとめ。	テキストの問題点を整理し、発表する。	120
11	講読２-①	テキスト①を講読し、要点を整理する。	課題をレジュメにまとめる。	120
12	講読２-②	テキスト②を講読し、要点を整理する。	課題をレジュメにまとめる。	120
13	講読２-③	テキスト③を講読し、要点を整理する。	課題をレジュメにまとめる。	120
14	講読２-④	テキスト④を講読し、要点を整理する。	課題をレジュメにまとめる。	120
15	講読２-⑤	テキスト講読の総まとめ。	テキストの全体像を整理し、発表できるようにする。	120
16	後期ガイダンス	後期の授業の進め方を相談する。	中間発表の準備を行う、	120
17	講読３-①	テキストを講読する。	課題をレジュメにまとめる。	120
18	講読３-②	テキストを講読する。	課題をレジュメにまとめる。	120
19	最終発表の準備	レポート作成を指導する。	課題をレジュメにまとめる。	120
20	レポート作成①	レポート作成を指導する。	課題をレジュメにまとめる。	120
21	レポート作成②	レポート作成を指導する。	課題をレジュメにまとめる。	120
22	レポート作成③	レポート作成を指導する。	最終発表のためのレジュメ作成をする。	120
23	レポート作成④	レポート作成を指導する。	課題をレジュメにまとめる。	120
24	レポート作成⑤	レポート作成を指導する。	課題をレジュメにまとめる。	120
25	レポート作成⑥	レポート作成を指導する。	課題をレジュメにまとめる。	120
26	レポート作成⑦	レポート作成を指導する。	課題をレジュメにまとめる。	120
27	レポート作成⑧	レポート作成を指導する。	課題をレジュメにまとめる。	120
28	レポート作成	レポート作成を指導する。	テキストの全体像を他人に伝えられるように整理し、発表する。	120
29	まとめ①	成果レポートの最終確認。	レポートを書き上げて発表する。	120
30	まとめ②	前回のつづきを行う。	レポートに関する質疑応答に備える。	120

令和3年度

科目名	文化史総合演習	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 必修
担当教員	桑野　聡		
開講期	通年		
授業概要	4年間の西洋史の学習を各自の研究テーマに合わせて追及し、論文にまとめる作業をサポートします。 □報告と討論に対して修正点や課題を提示することでフィードバックする。　　CS2211		
達成目標	テキストを自分なりに読み込んで、他の情報で補足・批判できる力の育成を目的とする。 各自の担当部分をきちんと要約し、他者と意見交換できることを単位認定の最低基準とする。 ディプロマ・ポリシーとの関係：　研究課題・論理的創造力		
受講資格	専攻科２年生（西洋史指導学生）	成績評価 方法	報告（50点）・授業態度・討論（50点）
教科書	特にしてしません。		
参考書	専攻科1年次までにリストアップした参考文献を適宜読み込み、使用します。		
学生への要望	「高校世界史」程度の基礎知識と、議論に積極的に参加する姿勢を望む。☒		
オフィスタイム	火曜Ⅰ時限目（8:50～10:20）・金曜Ⅴ時限目（16:10～17:40）　考古学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	本講義の進め方を解説し、導入とする。	自分の年間研究計画を主体的に作る。	60
2	ウォーミングアップ①	短大卒業論文の確認。	註の付け方を確認し、自分の卒業論文の註を完璧にする。	120
3	ウォーミングアップ②	短大卒業論文の確認。	資料・参考文献の記載方法を確認し、自分の卒業論文を完璧にする。	120
4	講読１-①	長島伸一『大英帝国　最盛期イギリスの社会史』第６章「大衆社会化現象と庶民生活」を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
5	講読１-②	産業革命期の労働者の生活を確認する。	労働者の生活を調べて、授業に備える。	120
6	講読１-③	万博と科学の発展について解説する。	犯罪や捜査と科学の関係について調べる。	120
7	講読２-①	第７章「大衆社会の舞台装置」を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
8	講読２-②	女性運動と女性の社会進出について解説する。	当時の女性の職業としてどのようなものがあるかを調べる。	120
9	講読２-③	コーヒーハウスやミュージックホールなど、新しい都市生活について解説する。	当時の娯楽について考える。	120
10	講読３-①	矢野久「〈歴史犯罪学〉の成果と展望（上下）－西欧における犯罪の社会史研究を中心に」第1章「イギリス的方法による〈歴史犯罪学〉」を担当者が要約し、レジュメで説明する。	テキストの全体像を他人に伝えられるように整理し、発表する。	120
11	講読３-②	第1節「工業化／都市化と犯罪性ー社会科学的・統計的分析」を読み込む。	工業化・都市化がもたらす影響を考える。	120
12	講読３-③	第2節「下からの社会史」としての犯罪史研究」を読み込む。	犯罪が起きる現場ともいえる社会の底辺について考える。	120
13	講読3-④	第3節「犯罪の制度史的研究」を読み込む。	刑罰の問題について考える。	120
14	インターミッション	中間報告のための構想を相談する。	これまでの講読文献の内容を精査し、自分の研究の構想を作る。	120
15	前期まとめ	中間報告の下発表を実施する。	発表原稿を作り、質疑応答に応える。	120
16	後期ガイダンス	受講学生の夏休みの課題への取り組みを確認し、後期の授業の進め方を相談する。	中間発表の準備を行う。	30
17	講読５-①	林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』の一部を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
18	講読５-②	警察誕生の歴史を解説する。	警察という組織を当たり前のものとして見るのではなく、近代の産物として考える。	120
19	講読５-③	ロンドン警察の特徴を解説する。	警察の役割を考える。	120
20	講読６-①	林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』の一部を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	本講義の進め方を解説し、導入とする。	自分の年間研究計画を主体的に作る。	60
21	講読６-②	警察に対する差別について解説する。	日本の明治政府の警察のあり方を調べる。	120
22	講読６-③	警察が市民に親しまれる存在にある歴史的過程を解説する。	権力と市民の関係を考える。	120
23	講読７-①	林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』の一部を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
24	講読７-②	凶悪犯罪における警察の対応について解説する。	具体例による検証を準備する。	120
25	講読７-③	『パンチ』などの社会風刺を手掛かりに、警察の位置づけを考える。	ビゴーなどを使って日本の警察について考えてみる。	120
26	講読８-①	林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』の一部を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
27	講読８-②	近代警察のあり方と推理小説の関係について考える。	ホームズの人気を背景を考える。	120
28	講読８-③	科学捜査の発展と市民の関心について解説する。	具体例を調べる。	120
29	講読８-④	警察の信頼性について解説する。	具体例を調べる。	120
30	まとめ	年度末報告の相談を受ける。	年度末報告の構想を作る。	60

令和3年度

科目名	文化史総合演習	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 必修
担当教員	斎藤　美保子		
開講期	通年		
授業概要	専攻科2年間の総まとめ科目である。西洋美術史の主題を設定し、調査、思索を重ねてレポートをまとめる。☒ 毎時間、学生の報告を評価して口頭で伝え、次の段階の指示をする。☒ CS2210		
達成目標	美術史的に意義のあるレポートをまとめ、歴史学の学士（文学）を授与される実力を身につける。☒ 単位認定の最低基準：各自の学位授与機構に報告するレポートを完成させること。☒ DPとの関係：論文を論理的・創造的にまとめる力、社会貢献の能力		
受講資格	専攻科2年生。一年次に「フランスの歴史と文化」の単位を取得していること。	**成績評価方法**	①意義のある研究テーマの設定②英文を含む参考文献の読解③美術品の調査④論理的、創造的な思索⑤説得力のあるレポート☒ 各20点、100点満点。80点以上を目指すこと。
教科書	特に指定しない。		
参考書	適宜指示する。		
学生への要望	授業時間以外でも教員と連絡が付くようにすること。		
オフィスタイム	火曜日16:00-17:00　金曜日10:30-11:30　　研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	授業の進め方を説明する。研究倫理の指導をする。 レポートのテーマを確認する。	自分らしいテーマを確定する。研究倫理を深く理解する。	200
2	文献調査 1	テーマに関連した文献資料の読解。	資料を読み込み、ノートを取る。	200
3	文献調査 2	テーマに関連した文献資料の読解。	資料を読み込み、ノートを取る。	200
4	文献調査 3	テーマに関連した文献資料の読解。	資料を読み込み、ノートを取る。	200
5	文献調査 4	テーマに関連した文献資料の読解。	資料を読み込み、ノートを取る。	200
6	文献調査 5	テーマに関連した文献資料の読解。	資料を読み込み、ノートを取る。	200
7	作品調査 1	特に問題とする作品に関し、文献調査をする。	考察を深める	200
8	作品理解 2	特に問題とする作品に関し、文献調査をする。	考察を深める	200
9	作品理解 3	特に問題とする作品に関し、文献調査をする。	考察を深める	200
10	作品理解 4	特に問題とする作品に関し、文献調査をする。	考察を深める	200
11	作品理解 5	特に問題とする作品に関し、文献調査をする。	考察を深める	200
12	作品調査 1	美術館、博物館、資料館で実際に作品を調査する。	調査ノートを整理する。	200
13	作品調査 2	美術館、博物館、資料館で実際に作品を調査する。	調査ノートを整理する。	200
14	作品調査 3	美術館、博物館、資料館で実際に作品を調査する。	調査ノートを整理する。	200
15	中間発表	前期の調査の成果を報告する。	パワーポイント資料の作成	200
16	文献調査 1	結論を導くために必要な文献を調査する。	調査結果を整理し、考察を深める。	200
17	文献調査 2	結論を導くために必要な文献を調査する。	調査結果を整理し、考察を深める。	200
18	文献調査 3	結論を導くために必要な文献を調査する。	調査結果を整理し、考察を深める。	200
19	文献調査 4	結論を導くために必要な文献を調査する。	調査結果を整理し、考察を深める。	200
20	文献調査 5	結論を導くために必要な文献を調査する。	調査結果を整理し、考察を深める。	200
21	草稿執筆 1	テーマ設定の部分を書き上げ、指導を受ける。	振り返りと修正を繰り返す。	200
22	草稿執筆 2	調査報告の部分を書き上げ、指導を受ける。	振り返りと修正を繰り返す。	200
23	草稿執筆 3	考察の部分を書き上げ、指導を受ける。	振り返りと修正を繰り返す。	200
24	草稿執筆 4	結論部分を書き上げ、指導を受ける。	振り返りと修正を繰り返す。	200
25	確認	問題設定から結論までの展開を確認する。	全体的な流れに齟齬がないか再確認する。	200
26	図版等の著作権処理	作品の写真掲載に関し、美術館等の許可を得る。	実務処理を行う。	200
27	作図、作表	結論を導くために必要な図表を作る。	エクセル等で図表を仕上げる。	200
28	参考文献明示	参考文献のリストを整え、引用文献を明示する。	論文として整える。	200
29	レポート完成	12,000字程度のレポートを書き上げ、図版を適宜挿入する。	論文としての完成度を高める。	200
30	最終発表会	学位授与機構に提出したレポートの概要を報告する。	要旨を配布する。	200

令和3年度

科目名	西洋美術史演習	**対象 単位数 必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	斎藤　美保子		
開講期	通年		
授業概要	論文を含む和文、英文の基本文献を精読し、美術史の方法論を理解し、各自のテーマに取り組む。☒ 図版を含みA4、5枚程度のレポートをまとめる。☒ 少人数教育ゆえ、学生の学修の進み具合を評価し、授業内で伝える。☒ CS2207		
達成目標	①西洋美術史の最新の学問的成果に関心を持ち、ある程度理解できるようになる。☒ ②西洋美術を調査、分析する基礎力を持つ。☒ ③論理的な思考と文章表現ができるようになる。☒ 単位認定の最低基準：認定専攻科の学生として、学位授与機構に申請するレポートを完成させること。☒ DPとの関係：研究課題を適切に設定、論文を論理的・創造的にまとめる力		
受講資格	専攻科2年生☒ 専攻科1年生の「フランスの歴史と文化」を取得していることが望ましい。	**成績評価 方法**	授業中の進捗状況（50点）☒ レポート（50点）☒ 80点以上を目指すこと。
教科書	学生の興味関心に応じて決める。		
参考書	大学図書館で10冊程度紹介する。		
学生への要望	西洋美術史は幅広いので、興味関心の強い、独創的なテーマをみつけ、精緻な調査と論理的な文章、説得力のある発表を目指してほしい。英文資料を含む参考文献の読解を課す。		
オフィスタイム	火曜日16:00-17:00　金曜日10:30－11:30　研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	過去の学生のレポートを紹介し、学生個々のテーマを相談する。☒	1年間取り組むテーマをよく考える。	100
2	基本文献	テーマに沿って、精読すべき基本文献を選定する。☒	図書館等で参考文献を手に取り、吟味する。	100
3	読解 1	基本文献①を精読する。☒	①を読み込み、要点をノートにまとめる。	100
4	読解 2	基本文献①を精読する。☒	①を読み込み、要点をノートにまとめる。	100
5	読解 3	基本文献①を精読する。☒	①を読み込み、要点をノートにまとめる。	100
6	読解 4	基本文献①を精読する。☒	①を読み込み、要点をノートにまとめる。	100
7	美術館見学	近隣の美術館の展示を見学する。	見学ノートをまとめる	100
8	美術館資料調査	近隣の美術館で収蔵品に関わる資料を調査する。	調査ノートをまとめる	100
9	美術館見学記録	見学で得た知見と感想を口頭で発表し、1200字程度の文章に記録する。	発表の準備と振り返り	100
10	先行研究調査	学術雑誌「美術史」「美術史研究」「美学」から先行論文を探す。	コピーを取り、資料として整理する。	100
11	論文読解 1	論文①を精読し、論旨をまとめる。	論文を読み込み、理解を深める。	100
12	論文読解 2	論文②を精読し、論旨をまとめる。	論文を読み込み、理解を深める。	100
13	論文読解 3	論文③を精読し、論旨をまとめる。	論文を読み込み、理解を深める。	100
14	英文読解 1	英文資料を読解し、和訳する。	日本語として読みやすい和訳にする。	100
15	英文読解 2	英文資料を読解し、和訳する。	日本語として読みやすい和訳にする。	100
16	英文読解 3	英文資料を読解し、和訳する。	日本語として読みやすい和訳にする。	100
17	和訳中間まとめ	途中までの和訳を検討する。	今までの和訳を修正する。	100
18	英文読解 4	英文資料を読解し、和訳する。	日本語として読みやすい和訳にする。	100
19	英文読解 5	英文資料を読解し、和訳する。	日本語として読みやすい和訳にする。	100
20	和訳最終まとめ	和訳を完成し、論旨を理解する。	論文を充分に理解する。	100
21	読解 5	基本文献②を精読する。	②を読み込み、要点をノートにまとめる。	100
22	読解 6	基本文献②を精読する。	②を読み込み、要点をノートにまとめる。	100
23	読解 7	基本文献②を精読する。	②を読み込み、要点をノートにまとめる。	100
24	読解 8	基本文献②を精読する。	②を読み込み、要点をノートにまとめる。	100
25	関連調査 1	テーマの問題点を解決するために、関連資料を調査する。	関連資料を読み込む。	100

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
26	関連調査２	テーマの問題点を解決するために、関連資料を調査する。	関連資料を読み込む。	100
27	レポートの章立て	論理的なレポートとなる様、章立てを検討する。	レポートを書き進める。	200
28	レポート執筆における諸注意	引用文の示し方、文献目録の表記等、レポート執筆における注意を確認する。	レポートを完成させる。	200
29	レポートの完成と講評	レポートを完成し、発表する。それに対し、講評する。	レポートを振り返る。	200
30	要旨の完成と講評	要旨をまとめ、発表する。それに対し、講評する。	レポートの要旨をまとめる。	200

令和3年度

科目名	日本宗教史演習	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	福島　寅太郎		
開講期	通年		
授業概要	末木文美士氏の『日本宗教史』（岩波新書）を教科書として使い、毎回輪読をし、日本宗教文化の歴史を学ぶ。新書版だから、読みやすいというイメージがあるが、実際に読んでみると読めない言葉、わからない用語が多々あろう。一字一句を声を出して読むという読書の経験が少なくなってきた今日では、一冊の本を時間をかけてじっくり読むという姿勢が珍しいと思われるかも知れないが、必要なことであり、学ぶという本来あるべき姿勢だと考える。☒ 授業時の質疑応答やレポートの返却等によってフィードバックを行う。☒ 位置づけ・水準:CS2205		
達成目標	授業を通じて以下のことを達成してほしい。☒ ①日本史における宗教のあり方を学ぶ。☒ ②宗教の歴史的展開を学ぶ。☒ ③宗教学という学問のまなざしで宗教を考える。☒ 単位認定の最低基準は:は「内容の7割以上を理解していること」☒ DPとの関係:研究課題、論理的・創造的		
受講資格	短大専攻科２年	**成績評価** **方法**	試験成績60点、レポート提出20%、小テスト20%など。理解度８割で、合とする。
教科書	『日本宗教史』、末木文美士著。岩波新書、2006年。丸善などの書店で買い求めることができる。		
参考書	末木文美士『日本宗教史』、岩波新書。担当教員個人が持っているが、授業でよく参考にするので、できればそれぞれが一冊を購入することをおすすめする。		
学生への要望	・授業に積極的に参加すること。☒ ・ノートをこまめにとること。		
オフィスタイム	月曜日１６時～。担当教員の研究室（創学館No.５）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	後期のガイダンス	各回の内容や計画、成績評価の方法などについて説明するほか、教科書のことや参考文献購入のことについても話す予定ですので、必ず出席してください。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
2	日本宗教史とはなにか	これまで日本史の立場に日本宗教史の研究が多かったが、宗教学独自の視点によるものはあまりないようである。宗教学独自の「日本宗教史」は可能か。これまでの議論を踏まえつつ考えてみる。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
3	記紀神話の世界	古事記や日本書紀に伝えられている神々の構造を分析し、記紀時代の神話はいったい何を意味するのかを考える。丸山真男の「古層」の問題も話題にする予定である。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
4	神と仏	仏教の伝来と神々の変容、神仏習合の諸相などについて、指定された教科書を一緒に読みながら、理解する。神話から歴史への移行に見られる宗教の役割を考えることも課題として予定されている。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
5	神仏論の展開	これまでの話を踏まえ、中世の神仏論の展開を考えてみる。具体的には、実践しそうとしての仏教思想、王法と仏法との関係を取り上げて話題にする。『日本霊異記』を参考しながら授業を進める予定で☒ ある。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
6	神仏と中世（1）	習合神道の理論や中世的思惟と神仏の関係を具体的に取り上げて話題にする予定である。また、鎌倉新仏教の「新」にも注目し、中世の神仏論の展開を総合的に理解することを目指している。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
7	神仏と中世（2）	習合神道の理論や中世的思惟と神仏の関係を具体的に取り上げて話題にする予定である。また、鎌倉新仏教の「新」にも注目し、中世の神仏論の展開を総合的に理解することを目指している。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
8	世俗と宗教（1）	キリシタンと権力者崇拝、宗教統制と権力者崇拝、儒教のイデオロギー、宗教と世俗倫理などを取り上げて話題にする予定である。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
9	世俗と宗教（2）	キリシタンと権力者崇拝、宗教統制と権力者崇拝、儒教のイデオロギー、宗教と世俗倫理などを取り上げて話題にする予定である。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	神道とナショナリズム（1）	近世の神道の展開などを話題にしながら、「神儒」や「神仏」および「国学」、国家神道の問題を考えてみる。本居宣長の「古層」発見の方法や神道イデオロギーの問題にも注目してみたい。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	0
11	神道とナショナリズム（2）	近世の神道の展開などを話題にしながら、「神儒」や「神仏」および「国学」、国家神道の問題を考えてみる。本居宣長の「古層」発見の方法や神道イデオロギーの問題にも注目してみたい。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
12	近代化と宗教（1）	国家神道と他の諸宗教の関係を考える。神仏分離から国家神道、キリスト教と国家（内村鑑三事件をの波紋）精神主義の提唱者である清澤満之を具体的に取り上げてみることにしたい。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
13	近代化と宗教（2）	国家神道と他の諸宗教の関係を考える。神仏分離から国家神道、キリスト教と国家（内村鑑三事件をの波紋）精神主義の提唱者である清澤満之を具体的に取り上げてみることにしたい。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
14	民衆宗教の形成	前半は新宗教の誕生、戦後宗教の消長を概観する。後半は「宗教」という概念の生成の背景に注目しつつ、宗教とはなにか、宗教史とは果たして可能かを総括的に考えてみる予定である。	紹介された教科書および参考資料を読み、理解すること	1.5
15	前期の最終回､ミニテストを実施する。	前期内容についてのまとめ。	これまでの授業を振り返り、全体的な理解を行う。	1.5
16	天神信仰における東福寺の位置づけについて	前半は新宗教の誕生、戦後宗教の消長を概観する。後半は「宗教」という概念の生成の背景に注目しつつ、宗教とはなにか、宗教史とは果たして可能かを総括的に考えてみる予定である。	教科書と参考文献を読み、理解すること	1.5
17	天神信仰における東福寺の位置づけについて	東福寺における天神信仰の伝承を探る	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
18	天神像の変容について	怨霊信仰から学問の神様への「変身」についての歴史的な過程をたどる	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
19	怨霊信仰と天神信仰について	先行研究の紹介とその問題点について探る	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
20	天神信仰と陰陽道について	陰陽道の動向を視野に入れつつ、天神信仰の展開をさらに探る。	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
21	梅と天神信仰	菅原道真像を手がかりに梅と天神の変容のあり方を探る。	紹介された文献を読み、理解すること	1.5
22	北野天満宮をめぐる諸問題	担当者の実地調査を踏まえつつ、北野天満宮の実体と天神信仰の変容について探る。	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
23	天神信仰の広がりについて	天神信仰の地方への広がりについて具体的な事例を取り上げて述べる。	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
24	東北地方における天神信仰	東北六県における天神信仰の実体を写真などを通じて探る。	紹介された参考文献を読み、理解すること	0
25	会津地方における天神信仰の特徴	学問の神様へと変容された会津地方の天神信仰の実体とその特徴について探る。	紹介された参考文献を読み。理解すること	1.5
26	庶民信仰としての天神信仰	地域の人々が天神信仰とどのように関わっているかを市町村の関連資料を基に探る。	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
27	天神信仰の現在ー地方神社における合格祈願を手がかりにー	神社と天神信仰の関係について、会津地方の事例を手がかりに探る。	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
28	まとめ～その①天神信仰の宗教性と歴史的性格	まとめに当たって、天神信仰の宗教性と歴史性、地方的特徴について考える。	紹介された参考文献を読み、理解すること	1.5
29	まとめ～其の②天神信仰の宗教性と歴史性	前回と同じ。期末試験については、レポートを提出すること。詳しいことは授業で指示する。	紹介された参考文献を理解すること	1.5
30	年度のまとめ	プリントを配布し、授業を進める	事前に配布されたプリントを読み、理解すること	1.5

令和3年度

科目名	日本文化史演習	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	佐藤　愛未		
開講期	通年		
授業概要	近世後期～近代にかけて作成された歴史資料を読み解きながら、文書が作成された背景や意図について考察する。☒ またこの授業では、文書解読の技能を習得すること。そして、文書を通してその時代の用語や文章の書き方、及び史料の取扱い方を学ぶことである。☒ なお、毎授業ごとに課題に対するフィードバックを行います。☒ ☒ 位置づけ・水準　CS2204		
達成目標	歴史資料の解読技能を習得を目指し、読むだけではなく内容を理解し史料の作成背景などを考察するための多角的視覚を養う。を達成目標とします。☒ 単位認定の最低基準は、☒ ①授業の内容を7割理解していること。☒ ②資料読解について７割を理解していること。☒ ③資料読解の取り扱い方について７割理解していること。☒ ☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：研究課題、論理的・創造的		
受講資格	専攻科２年生	**成績評価** **方法**	①口頭発表40点(史料の読解・解釈)☒ ②課題60点(30点・30点の2回)
教科書	適宜プリントを配布する。		
参考書	日本歴史学会編『演習古文書選　近世編』吉川弘文館、1971年☒ 児玉幸多編『くずし字用例事典』東京堂出版、1993年		
学生への要望	史料読解のため必ず予習復習を行い、問題関心・探究心をもって授業に出席すること。		
オフィスタイム	月曜日１時間目、木曜日１時間目。創学館4階、№5研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	古文書を解読するうえで必要とされる基本的知識について説明する。また、史料整理対象となる和算家の佐久間庸軒、および関係文書について説明する。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：ガイダンスの内容及び目録作成の方法について復習する。	30
2	史料の全体把握（１）	整理対象となる、佐久間庸軒関係史料の全体像を把握する。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：目録作成の方法について復習する。	30
3	史料の全体把握（２）	整理対象となる、佐久間庸軒関係史料の全体像を把握する。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：目録作成の方法について復習する。	30
4	目録作成（１）	8つの文書群の中の①群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方を学ぶ。主に、図書資料の目録の取り方を学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
5	目録作成（２）	8つの文書群の中の②群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方を学ぶ。主に、図書資料の目録の取り方を確認しつつ、図書資料の扱い方を学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
6	目録作成（３）	8つの文書群の中の②群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方と、書簡の目録の取り方を学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
7	目録作成（４）	8つの文書群の中の②及び③群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方を学ぶ。書簡の目録の取り方を確認しつつ、書簡の扱い方を学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
8	目録作成（５）	8つの文書群の中の④群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方、史料の形態について学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	目録作成（６）	8つの文書群の中の④群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方、史料の形態について学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
10	目録作成（７）	8つの文書群の中の⑤群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方、そして巻物（軸物）の取扱いについて学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
11	目録作成（８）	8つの文書群の中の⑤群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方、近世文書の作成方法などについて学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
12	目録作成（９）	8つの文書群の中の⑤群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方、近世文書の作成方法などについて学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
13	目録作成（10）	8つの文書群の中の⑥群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方、図書の保存方法について学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
14	目録作成（11）	8つの文書群の中の⑥群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方、図書の保存方法について学ぶ。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
15	目録作成（12）	8つの文書群の中の⑥群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方を学び、資料の内容と分類を考える。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
16	目録作成（13）	8つの文書群の中の⑥群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方を学び、資料の内容と分類を考える。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
17	目録作成（14）	8つの文書群の中の⑥群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方を学び、資料の内容と分類を考える。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
18	目録作成（15）	8つの文書群の中の⑦群の目録作成を行いながら、史料内容の分類について考える。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
19	目録作成（16）	8つの文書群の中の⑦群の目録作成を行いながら、史料内容の分類について考える。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
20	目録作成（17）	8つの文書群の中の⑦群の目録作成を行いながら、佐久間庸軒並びに佐久間家について調査・分析する。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
21	目録作成（18）	8つの文書群の中の⑦群の目録作成を行いながら、佐久間庸軒並びに佐久間家について調査・分析する。	予習：参考書ほか、授業に関係があると思われる図書を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
22	目録作成（19）	8つの文書群の中の⑦群の目録作成を行いながら、佐久間庸軒並びに佐久間家について調査・分析する。	予習：興味を持った史料に関するレジュメの作成。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
23	目録作成（20）	8つの文書群の中の⑦群の目録作成を行いながら、佐久間庸軒並びに佐久間家について調査・分析する。	予習：興味を持った史料に関するレジュメの作成。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
24	目録作成（21）	8つの文書群の中の⑧群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方を学ぶ。なお、これまでの8つの群のまとまりや群の特徴や内容を確認する。	予習：興味を持った史料に関するレジュメの作成。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
25	目録作成（22）	8つの文書群の中の⑧群の目録作成を行いながら、くずし字の読み方を学ぶ。なお、これまでの8つの群のまとまりや群の特徴や内容を確認する。	予習：興味を持った史料に関するレジュメの作成。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
26	史料読解（１）	整理した文書の中から、興味をもった史料を読み、書かれた内容を考察する。合せて、佐久間庸軒が記した『旅行記』の解読を中心にくずし字を学ぶ。	予習：授業内で紹介した史料を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
27	史料読解（２）	整理した文書の中から、興味をもった史料を読み、書かれた内容を考察する。合せて、佐久間庸軒が記した『旅行記』の解読を中心にくずし字を学ぶ。	予習：授業内で紹介した史料を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
28	史料読解（３）	整理した文書の中から、興味をもった史料を読み、書かれた内容を考察する。合せて、佐久間庸軒が記した『旅行記』の解読を中心にくずし字を学ぶ。	予習：授業内で紹介した史料を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
29	史料読解（４）	整理した文書の中から、興味をもった史料を読み、書かれた内容を考察する。合せて、佐久間庸軒が記した『旅行記』の解読を中心にくずし字を学ぶ。	予習：授業内で紹介した史料を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30
30	史料読解（５）	整理した文書の中から、興味をもった史料を読み、書かれた内容を考察する。合せて、佐久間庸軒が記した『旅行記』の解読を中心にくずし字を学ぶ。	予習：授業内で紹介した史料を読んでくる。 復習：読めなかった文字（くずし字）を調べてくる。	30

令和3年度

科目名	中国文化史演習	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	渡部　東一郎		
開講期	通年		
授業概要	前期は唐代文人の手になる短編小説「唐代伝奇」の中から、後期は清朝初期の人、蒲松齢が著した怪奇小説集『聊斎志異』の中から数篇を取り上げ、輪読形式で読解していく。☒ なお、期末試験は採点後、添削の上、返却する。☒ 位置づけ・水準 CS2208		
達成目標	①漢文を訓読によって正確に解釈できる。☒ ②現代とは異なる、当時の人々のものの考え方や感じ方について理解を深めることができる。☒ 単位認定の最低基準は、内容の７割を理解していること。☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：1), 2)		
受講資格	専攻科☒ 文化学専攻 ２年	**成績評価** **方法**	①前期・後期の期末試験：各30点☒ ②出席・授業参加度：40点
教科書	プリントを配布する。		
参考書	授業内で必要に応じて指示する。		
学生への要望	予習の際に原文に対する自分なりの理解を得た上で受講することが大切である。なお、中型漢和辞典(相応の電子辞書も可)を毎回持参すること。		
オフィスタイム	火曜日４限の教務部非常勤控室、及び授業終了後。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の目標と流れについて説明する。	授業の目標と流れ、配付資料を確認する。	30
2	「唐代伝奇」読解（１）	「離魂記」輪読	配付資料の予習・復習する。	60
3	「唐代伝奇」読解（２）	「李徴（人虎伝）」輪読①	配付資料の予習・復習をする。	60
4	「唐代伝奇」読解（３）	「李徴（人虎伝）」輪読②	配付資料の予習・復習をする。	60
5	「唐代伝奇」読解（４）	「李徴（人虎伝）」輪読③	配付資料の予習・復習をする。	60
6	「唐代伝奇」読解（５）	「板橋三娘子伝」輪読	配付資料の予習・復習をする。	60
7	「唐代伝奇」読解（６）	「定婚店」輪読①	配付資料の予習・復習をする。	60
8	「唐代伝奇」読解（７）	「定婚店」輪読②	配付資料の予習・復習をする。	60
9	「唐代伝奇」読解（８）	「杜子春伝」輪読①	配付資料の予習・復習をする。	60
10	「唐代伝奇」読解（９）	「杜子春伝」輪読②	配付資料の予習・復習をする。	60
11	「唐代伝奇」読解(10)	「杜子春伝」輪読③	配付資料の予習・復習をする。	60
12	「唐代伝奇」読解(11)	「枕中記」輪読①	配付資料の予習・復習をする。	60
13	「唐代伝奇」読解(12)	「枕中記」輪読②	配付資料の予習・復習をする。	60
14	「唐代伝奇」読解(13)	「枕中記」輪読③	配付資料の予習・復習をする。	60
15	まとめ	前期授業の内容を踏まえたまとめを行う。	前期授業の内容をまとめる。	60
16	『聊齋志異』読解(1)	「画皮」輪読①	配付資料の予習・復習をする。	60
17	『聊齋志異』読解(2)	「画皮」輪読②	配付資料の予習・復習をする。	60
18	『聊齋志異』読解(3)	「画皮」輪読③	配付資料の予習・復習をする。	60
19	『聊齋志異』読解(4)	「聶小倩」輪読①	配付資料の予習・復習をする。	60
20	『聊齋志異』読解(5)	「聶小倩」輪読②	配付資料の予習・復習をする。	60
21	『聊齋志異』読解(6)	「聶小倩」輪読③	配付資料の予習・復習をする 。	60
22	『聊齋志異』読解(7)	「聶小倩」輪読④	配付資料の予習・復習をする。	60
23	『聊齋志異』読解(8)	「酒虫」輪読	配付資料の予習・復習をする。	60
24	『聊齋志異』読解(9)	「竹青」輪読 ①	配付資料の予習・復習をする 。	60
25	『聊齋志異』読解(10)	「竹青」輪読 ②	配付資料の予習・復習をする 。	60
26	『聊齋志異』読解(11)	「竹青」輪読 ③	配付資料の予習・復習をする 。	60
27	『聊齋志異』読解(12)	「黄英」輪読①	配付資料の予習・復習をする 。	60
28	『聊齋志異』読解(13)	「黄英」輪読②	配付資料の予習・復習をする 。	60
29	『聊齋志異』読解(14)	「黄英」輪読③	配付資料の予習・復習をする 。	60
30	まとめ	後期授業の内容を踏まえたまとめを行う。	後期授業の内容をまとめる。	60

令和3年度

科目名	西洋文化史演習	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	桑野　聡		
開講期	通年		
授業概要	西洋史を学ぶための基礎知識と基本姿勢を習得するために、参加学生の研究テーマの報告と質疑応答を繰り返すことで、各自のテーマの問題の所在、研究史上の問題点などを明らかにし、文献から借用してきた知識ではなく、自分のデータ・情報として利用する姿勢を強化していきたい。具体的には19世紀イギリスの生活文化と警察、犯罪に関する文献を講読する。 □報告と討論に対して修正点や課題を提示することでフィードバックする。　　CS2206		
達成目標	テキストを自分なりに読み込んで、他の情報で補足・批判できる力の育成を目的とする。 各自の担当部分をきちんと要約し、他者と意見交換できることを単位認定の最低基準とする。 ディプロマ・ポリシーとの関係：　研究課題・論理的創造力		
受講資格	専攻科２年生	成績評価 方法	報告（50点）・授業態度・討論（50点）
教科書	長島伸一『大英帝国　最盛期イギリスの社会史』講談社現代新書　1989年、矢野久「〈歴史犯罪学〉の成果と展望（上下）－西欧における犯罪の社会史研究を中心に」（『三田学会雑誌』82巻2号・3号　1989年）、林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』昭和堂　2002年		
参考書	必要に応じて随時提示。☒		
学生への要望	「高校世界史」程度の基礎知識と、議論に積極的に参加する姿勢を望む。☒		
オフィスタイム	火曜Ⅰ時限目（8:50～10:20）・金曜Ⅴ時限目（16:10～17:40）　考古学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	本講義の進め方を解説し、導入とする。	自分の年間研究計画を主体的に作る。	60
2	ウォーミングアップ①	短大卒業論文の確認。	註の付け方を確認し、自分の卒業論文の註を完璧にする。	120
3	ウォーミングアップ②	短大卒業論文の確認。	資料・参考文献の記載方法を確認し、自分の卒業論文を完璧にする。	120
4	講読１-①	長島伸一『大英帝国　最盛期イギリスの社会史』第６章「大衆社会化現象と庶民生活」を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
5	講読１-②	産業革命期の労働者の生活を確認する。	労働者の生活を調べて、授業に備える。	120
6	講読１-③	万博と科学の発展について解説する。	犯罪や捜査と科学の関係について調べる。	120
7	講読２-①	第７章「大衆社会の舞台装置」を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
8	講読２-②	女性運動と女性の社会進出について解説する。	当時の女性の職業としてどのようなものがあるかを調べる。	120
9	講読２-③	コーヒーハウスやミュージックホールなど、新しい都市生活について解説する。	当時の娯楽について考える。	120
10	講読３-①	矢野久「〈歴史犯罪学〉の成果と展望（上下）－西欧における犯罪の社会史研究を中心に」第1章「イギリス的方法による〈歴史犯罪学〉」を担当者が要約し、レジュメで説明する。	テキストの全体像を他人に伝えられるように整理し、発表する。	120
11	講読３-②	第1節「工業化／都市化と犯罪性ー社会科学的・統計的分析」を読み込む。	工業化・都市化がもたらす影響を考える。	120
12	講読３-③	第2節「下からの社会史」としての犯罪史研究」を読み込む。	犯罪が起きる現場ともいえる社会の底辺について考える。	120
13	講読3-④	第3節「犯罪の制度史的研究」を読み込む。	刑罰の問題について考える。	120
14	インターミッション	中間報告のための構想を相談する。	これまでの講読文献の内容を精査し、自分の研究の構想を作る。	120
15	前期まとめ	中間報告の下発表を実施する。	発表原稿を作り、質疑応答に応える。	120
16	後期ガイダンス	受講学生の夏休みの課題への取り組みを確認し、後期の授業の進め方を相談する。	中間発表の準備を行う。	30
17	講読５-①	林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』の一部を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
18	講読５-②	警察誕生の歴史を解説する。	警察という組織を当たり前のものとして見るのではなく、近代の産物として考える。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
19	講読５-③	ロンドン警察の特徴を解説する。	警察の役割を考える。	120
20	講読６-①	林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』の一部を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
21	講読６-②	警察に対する差別について解説する。	日本の明治政府の警察のあり方を調べる。	120
22	講読６-③	警察が市民に親しまれる存在にある歴史的過程を解説する。	権力と市民の関係を考える。	120
23	講読７-①	林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』の一部を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
24	講読７-②	凶悪犯罪における警察の対応について解説する。	具体例による検証を準備する。	120
25	講読７-③	『パンチ』などの社会風刺を手掛かりに、警察の位置づけを考える。	ビゴーなどを使って日本の警察について考えてみる。	120
26	講読８-①	林田敏子『イギリス近代警察の誕生　ヴィクトリア朝ボビーの社会史』の一部を担当者が要約し、レジュメで説明する。	課題範囲を読み込み、レジュメにまとめる。	120
27	講読８-②	近代警察のあり方と推理小説の関係について考える。	ホームズの人気を背景を考える。	120
28	講読８-③	科学捜査の発展と市民の関心について解説する。	具体例を調べる。	120
29	講読８-④	警察の信頼性について解説する。	具体例を調べる。	120
30	まとめ	年度末報告の相談を受ける。	年度末報告の構想を作る。	60

令和3年度

科目名	考古学演習	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	會田　容弘		
開講期	通年		
授業概要	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。考古資料を用いた実際的研究を行ってきた経験を授業に生かし、指導する。発掘調査に参加し、出土した資料整理を通し、実際の考古資料を扱いその観察方法、記述方法を学び、実践する。さらに、実物資料認識の方法、その資料の関連研究を中心にまとめ、発表をおこない、学生同士の討論を行い、学習を深めて行くのが目標である。☒ 本学では２００１年以来会津若松市湊町大字赤井字笹山原に位置する笹山原遺跡Ｎｏ．１６の発掘調査を継続して行っている。笹山原遺跡Ｎｏ．１６は平安時代、縄文時代前期、後期旧石器時代の複合遺跡でそこから出土した資料を用いて、実践的な演習を行う。☒ 発掘資料の整理、データ整理、記録法、写真撮影などの実践を踏まえて、資料に対する認識力を深め、論文読解を経て、学術的議論ができるような訓練を行う。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 位置付け・水準CS2209☒		
達成目標	＜到達目標＞考古資料の理解を経て、考古資料の考古学的基礎に基づいた記述が可能なレベルにまで到達できること。☒ 考古学の学術論文を読み、批判的に検討できるレベルに到達すること。単位認定の最低基準は授業内容の7割以上を理解していること。ディプロマポリシーとの関係：研究課題と論理的・創造的		
受講資格	考古学の十分な理解があること	**成績評価方法**	レポート及び発表内容(レポート70%、発表30%)で60点以上の理解度で、合とする。考古学で論文を作成する学生は80点以上の理解度を求める。☒
教科書	イニザン他『石器研究入門』☒ 山中一郎「考古学における方法の問題」		
参考書	文化学科（資格課程）報告集第４～21集　地域創成学科報告集第1・2集		
学生への要望	考古学実習発掘に参加すること。発表と議論が中心になるので事前の準備を十分行うこと。事前準備が予習にあたる。発表内容への指摘点、修正指導点は復習としておこなってほしい。		
オフィスタイム	水曜日2・4時限目。緊急の場合はそれ以外でも可。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	考古学演習の説明	演習の進め方についての説明。	過去の発掘調査の理解。	60
2	発掘調査準備（１）	笹山原遺跡Ｎｏ．１６の発掘調査を行うにあたっての基本的な準備を行う。機材の確認、機材の操作方法の確認、発掘調査過程の確認を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
3	発掘調査準備（２）	発掘調査に用いる図面、遺物カード、手引きなどの製作を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
4	発掘調査実習（１）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱａ層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
5	発掘調査実習（２）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱａ層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
6	発掘調査実習（３）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱａ層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
7	発掘調査実習（４）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱｂ層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
8	発掘調査実習（５）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱｂ層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
9	発掘調査実習（６）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱｂ層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
10	発掘調査実習（７）	笹山原遺跡N0.１６の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
11	発掘調査実習（８）	笹山原遺跡N0.１６の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
12	発掘調査実習（９）	笹山原遺跡N0.１６の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
13	発掘調査実習（１０）	笹山原遺跡N0.１６の発掘調査。Ⅳ層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
14	発掘調査実習（１１）	笹山原遺跡N0.１６の発掘調査。Ⅳ層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
15	笹山原遺跡No.１６の石器遺物観察（１）	実際に出土した笹山原遺跡Ｎｏ．１６の石器遺物の全体を観察する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
16	笹山原遺跡No.１６の石器遺物観察（２）	石材分類。笹山原遺跡Ｎｏ．１６から出土する石器遺物は様々な石材が用いられている。石材を理解し、その石材別の分類を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
17	笹山原遺跡No.１６の石器遺物観察（３）	母岩分類。同一の石材であっても、異なる母岩から製作されている。中には同一母岩から剥離された石器が存在することがある。それらを認識し分類する。⊠	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
18	笹山原遺跡No.１６の石器遺物観察（４）	同一母岩に分類したものの中で、遺跡の中で剥片剥離行為がなされた場合、まれに接合する場合がある。それを捜し求める作業を行う。全部のピースがそろっていない立体ジグソーパズルである。接合する資料が確認された場合、それはその石器が持ち運ばれたか、石器製作中に飛び散ったかなどという具体的に石器時代人の行為を実証することができる。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
19	笹山原遺跡No.１６の石器遺物観察（５）	石器接合作業。石材、同一母岩データのデータベースへの入力。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
20	笹山原遺跡No.１６の石器遺物観察（６）	石器接合作業。石材、同一母岩データのデータベースへの入力。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
21	石器の記録（１）	石器の記録方法として実測と写真撮影がある。その基本を説明する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
22	石器の記録（２）	写真撮影と実測を実際に行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
23	土師器の写真撮影	土師器の記録方法として写真撮影を行う。デジタルカメラを用いて、ライティングを調節しながら行⊠ う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
24	土師器の観察（１）	土師器の破片資料の観察を行う。観察表の作成を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
25	土師器の観察（２）	土師器の観察表を作成し、集計を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
26	土師器の実験考古学	粘土を用いて土師器を実験的に製作する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
27	縄文土器の理解	笹山原遺跡Ｎｏ．１６から出土した縄文土器破片を観察し、との特徴を調べる。胎土、文様、器形、調⊠ 整などの要素の見かたについて説明し、実際の遺物解説の発表を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
28	縄文土器の記録	縄文土器の記録方法として、拓本をとる。拓本の技術は既に修得しているので、実際に笹山原Ｎｏ．１⊠ ６遺跡出土の縄文土器を採拓し、前回の観察内容を記述し、発表する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
29	縄文時代の石器理解	縄文時代の石器を検討する。笹山原Ｎｏ．１６遺跡から出土した縄文時代の石器を取り上げ、その石⊠ 材、製作技術の特徴についてそれぞれ発表する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
30	縄文時代の石器の記録	石器を理解したうえで、写真撮影、実測を行う。撮影方法、実測方法については、博物館実習、日本の⊠ 考古学で修得していることを前提に行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60

令和3年度

科目名	哲学的人間論	**対象 単位数 必選**	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修
担当教員	関川　悦雄		
開講期	前期		
授業概要	本授業のねらいは、ご自身☒ の人間としての生き方やあり方について自問自答をしながら、人間をどうとらえるかを探るという点にあります。授業内容がむずかしいように見えるでしょうが、難解な概念や語句をいかに易しい言葉で述べるか、が課題になります。そこで、高校時代の「倫理」や「「政治経済」などで学習した人物、たとえば『政府二論』を執筆したロック、『国富論』のアダム・スミス、『純粋理性批判』のカント、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』のマックス・ウェーバーらを取り上げます。本講義では、歴史上の哲学者が人間をどうとらえたか、たとえば「人間は考える葦」（パスカル）とか、人間は知性的に行動するとか、人間は自由意志をもつ等などを取り上げます。なお、この講義専用のノートを用意して、それに講義内容を予習・復習の形で記述して貰いますが、それに対するフィードバック（評価）は行います。位置づけ・水準はGU1102です。		
達成目標	1　受講者は各哲学者の考え・思想の８割を理解し、まとめることができること。☒ 2　受講者は各哲学者にあっては「人間をどうとらえたか」という人間像を把握できること。☒ 3　受講者は各哲学者に関する講義を聴いて、最終的にご自身の「人間としての生き方やあり方」を述べることができること。これら三つの学修によって、ディプロマ・ポリシーに掲げられている「個の確立」と「人間形成」が図られることが期待できる。また、単位認定の最低基準は、これら三項目の７割程度理解し、活用できることである。		
受講資格	特になし	**成績評価 方法**	毎回ワークシートを使用し、教科書（テキスト）を使いつつこのワークシートの内容空欄を埋め、どこかで必ず１回は発表することで、10点とする。加えて、自作ノートに対する評価は10点とする。学期末試験で80点とし、合計100点とする。
教科書	佐藤康邦『近代哲学の人間像』（放送大学教材NHK出版）を使用する。絶版の場合はコピー物を用意する。		
参考書	特になし		
学生への要望	講義への主体的、協力的な参加を要望する。この講義専用のノートを用意すること		
オフィスタイム	水曜Ⅲ限（12:50～14:20）；木曜Ⅳ限（14:30～16:00）。関川研究室（図書館３階）。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	講義ガイダンス	授業の進め方やワークシートの活用・自作ノートの作成、成績評価の付け方、班別討議の仕方などを説明する。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
2	経験論の哲学（1）―ロックの経験論哲学	生得観念の拒否、タブラ・ラサ、経験論にとっての感覚・理性、社会契約説、認識論の是非などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
3	経験論の哲学（2）―ヒュームの哲学	スコットランド倫理学、単純印象と想像力、因果性の問題、心の同一性の問題などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
4	アダム・スミスにおける倫理学と経済学（1）	アダム・スミスの生涯、スミスの倫理学（『道徳感情論』をめぐって）―天文学史、共感と倫理学、公平な観察者、正義と博愛などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
5	アダム・スミスにおける倫理学と経済学（2）	スミスの経済学（『国富論』をめぐって）―近代哲学の成果としての『国富論』、分業と交換、資本と労働などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
7	カントの哲学（2）―実践理性批判	道徳と自由、『実践理性批判』の全体構成、道徳と世界の目的―徳と幸福との一致、目的としての人格などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
8	ヘーゲルの哲学―ドイツ観念とヘーゲル	カントの『判断力批判』の継承―ゲーテの自然学、シェリングの哲学、ヘーゲル哲学の誕生、ヘーゲルの哲学体系などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
9	実証主義的科学と哲学（1）―実証主義の制圧	実証主義的科学、実証主義の制圧―コントと実証主義、ダーウィンとマルクス、フロイトと無意識、新実証主義などを扱う。。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
10	実証主義的科学と哲学（2）―哲学からの反発	キルケゴールと実存主義、ニーチェの生哲学とパースペクティヴィズムなどを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
11	マックス・ウェーバーと社会学（1）	マックス・ウェーバーと西洋合理主義―『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、宗教社会学、支配の社会学、理解社会学などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
12	マックス・ウェーバーと社会学（2）	社会システム論―パーソンズの社会システム論、ルーマンの社会システム論などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
13	生命概念のもとでの哲学の主張（1）	フッサールと超越論的現象学―フッサールのロック批判、現象学的還元、ベルクソンの近代科学批判と生命概念―時間と自由、『創造的進化』、生命の跳躍などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	生命概念のもとでの哲学の主張（２）	日本近代と生命概念―『善の研究』、『自覚における直観と反省』などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
15	授業のまとめ	講義全体への振返り、自作ノートに対する評価	予習・復習；自作ノートへのチェック	40

令和3年度

科目名	衣生活文化論	**対象 単位数 必選**	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
担当教員	田辺　真弓		
開講期	前期		
授業概要	本科目は、生活科学科の教育目標に沿って設けられている専門科目・生活学系の選択科目である。また、短期大学部専攻科文化学専攻の専門関連科目である。☒ 　衣服は人がそれを装うときに成り立つものであり、衣服の主人公は人間である。衣服にはいろいろな時代背景や社会状況の中で、人間の様々な心情が託されてきた。本講義では、衣服を人間の存在と結び付いて長い間に培われてきた文化のひとつとして捉え、衣服が着る人の心とどのようにかかわっているかを考える。☒ 衣服の機能、衣服への感情移入、衣服の流行、制度と慣習、日本と西洋との色彩感情の違い等に着目する。さらに服飾研究の進め方について例を挙げて解説し、服飾研究に対する関心を高める。☒ 最終授業で全体に対するフィードバックを行います。☒ ☒ 位置づけ・水準　HU2408		
達成目標	目標は☒ ①衣生活の専門知識を修得し、それらを活用できること。☒ ②現代の衣生活をめぐる諸課題を発見分析し、解決する能力を身につけていること。☒ ③自己の専門知識を社会のために活かし、社会的責任を果たすことができること。☒ ④地域社会における衣生活に関する諸問題に新たな発想で取り組むことができること。☒ 単位認定の最低基準は内容の7割を理解していること。☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：1）知識・理解、2）課題探求力・問題解決力		
受講資格	家政学部生活科学科生活総合コース４年生☒ 短期大学部専攻科文化学専攻１年生	**成績評価 方法**	達成目標の到達度合いは課題レポート・期末レポートにより確認と評価を行う。☒ ①課題レポート　２回　２０点☒ ②期末レポート　８０点☒ ６０点以上で合格点とする。
教科書	教科書は用いず、資料を配布する。		
参考書	増田美子編『日本衣服史』吉川弘文館、小池三枝著『服飾文化論』光生館、小池三枝著『服飾の表情』勁草書房、徳井淑子著『服飾の中世』勁草書房、徳井淑子著『ヨーロッパ服飾史』河出書房新社、『衣服の百科事典』丸善出版株式会社・平成27年、一般社団法人日本家政学会編『被服学事典』朝倉書店・平成28年、その他は授業で紹介する。		
学生への要望	衣生活文化に関心をもつとともに、授業で紹介した参考文献にはできるだけ目を通し、自ら調べようとする姿勢を身につけること。		
オフィスタイム	教務部非常勤講師控室　金曜日Ⅲ時限		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業計画の提示　　日本風俗美術館服飾解説	授業計画を提示し、授業目標ならびに授業内容について説明する。☒ 図書館１階の日本風俗美術館に展示されている風俗人形の服飾、ならびに時代背景についての解説を聴き、日本の服飾についての関心を高めるとともに理解を深める。☒	日本風俗美術館見学の感想をまとめる。	60
2	なぜ衣服を着るのか☒ 衣服の機能　　表現と感情移入	衣服が持つ様々な機能について知る。また、衣服の機能のひとつである社会性について考えるとともに、衣服による表現と衣服への感情移入について学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
3	着心地とはなにか	着心地には物理的な着心地と、心理的な着心地とがある。ここでは衣服を着るときの心の状態を通して、個人・集団・文化のレヴェルで着心地について知り、衣服が着る人の心にどのように働きかけているかを考える。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
4	衣服の流行	衣服の流行はどのように発生して広がり、交代していくのか。また、それに付随してどのような現象が現れるか、また、それはどのような意味をもっているかについて、文献および絵画等の資料を参照しながら学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
5	日本の色と西洋の色	日本の色彩が季節感と密接に結びついているのに対して、西洋の色彩は季節感とほとんど結びついていないこと、また、日本と西洋では色彩の意味や用い方等に大きな違いがあることを知り、日本と西洋の色彩感情、色彩感覚が異なっていることを理解する。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	制度と慣習	日本の律令制における位の色や禁色、江戸時代の服飾に関する禁令、西洋の身分制度と服装等について知るとともに、日本の更衣(ころもがえ)や祝い着などにみられる慣習について学ぶ。また、更衣に連動して日本で伝統的に行われてきた衣料を使い切る衣生活について学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
7	布を大切に使いきる衣生活⊠ 持続可能な社会を考える	前回の「制度と慣習」で学んだ更衣に関連して、日本で伝統的に行われてきた布を使いきる衣生活について学ぶ。⊠ さらに、地球環境を守り、限られた資源を無駄なく活用し、「持続可能な社会」を目指す取り組みについて考える。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
8	衣服の美感	日本の近世の美感である「だて」と「いき」とはどのようなことを表し、服飾の上にどのように現れているのかを絵画資料、図版資料、文献等を通して知る。また、あわせて西洋の「ダンディズム」、日本の明治期の「ハイカラ」について、それが服飾上にどのように現れ、どのような影響を及ぼしたかを理解する。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
9	「むしのたれぎぬ」と苧麻(からむし)	平安時代から中世において寺社詣の際の旅装として用いられた「むしのたれぎぬ」は文学作品や絵巻物にしばしば登場している。これがどのような意味をもつ衣服であったかを知るとともに、その材料である苧麻について学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
10	「近世小袖」と町人服飾	近世小袖文様の流行と町人文化が花開いた元禄期の町人服飾について、雛形本、絵画資料、文学作品等を基に学び、服飾と当時の人々の生活との関わりを知る。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
11	近代日本の衣生活（1） 文明開化と衣生活の変化	明治維新後の文明開化期は服飾にも大きな変化をもたらした。日本において洋服がどのように用いられるようになっていったかを絵画や写真資料ならびに文献等を基に年代を追って見ていき、当時の人々が衣服についてどのような思いをもち、どのような衣生活をしていたのかを知る。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
12	近代日本の衣生活（2） 女性の服装の変化 婚礼服と喪服	一時流行するかに見えた女性の洋装の衰退と女性の改良髪型、女学生の袴の流行について知る。また、婚礼服の変化と日本の伝統的な喪の色の「白」や「浅黄」が西洋の喪の色の「黒」に変わり、黒の喪服が浸透し始めたことを学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
13	近代日本の衣生活（3） 洋風の防寒衣料	西洋から羊毛織物がもたらされたことにより、男性の「二重廻し」、女性の「東コート」などの外套、「肩掛」や「赤毛布」などのはおりものが流行した。これらの和服に組み合わせる防寒衣料が日本の衣生活に急速に浸透していったことについて知る。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
14	近代日本の衣生活（4）⊠ 働く女性と洋装の採用⊠ 学生服・子供服の洋装化	女性の洋装化は男性に比べて遅々として進まなかったが、明治末から大正にかけては女性の社会進出に伴い洋装化が進んだ。あわせて、「モボ」・「モガ」の出現、学生服・子供服の洋装化について学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
15	近代日本の衣生活（5） 繊維工業の進展 戦時体制下の衣生活	明治から昭和初期まで、日本の繊維工業は目覚ましく発展したが、日中戦争以降、戦争が拡大していくにしたがって衰退した。また、戦時体制下の衣生活はどのようであったかについて学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60

令和3年度

科目名	食生活概論	**対象 単位数 必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修
担当教員	鍬野　信子		
開講期	前期		
授業概要	望ましい食生活とは、食べる人の体調やその食物に対する心情、食べる環境などの複雑な条件を調整し、それぞれの要求に沿って、「健康」かつ「安全」で「満足」できるような食生活の質の向上を構築することが重要である。本授業では「食」に関わる周辺を包括して学ぶ。 【課題に対するフィードバックの方法】 課題提出後、フィードバックの時間を設定し連絡します。 【位置づけ・水準】 DS2143		
達成目標	「食生活」の重要性を認識するとともに、「食」に対する心理的、文化的側面についての教養や感性を養うことで、実生活で役立つ理論と実践の素養を身につけること、および、【履修カルテの評価項目】を達成することを目標とする。☒ ☒ 【履修カルテの評価項目】☒ ①「食生活」が、さまざまな物と人との相互作用によって構築されていることを、どの程度理解できたか。☒ ②食に対する充足感を満たすための心理的、文化的側面についての教養や感性を、どの程度養うことができたか。☒ ③国が定めた「健康」や「表示」に関する制度を、どの程度理解できたか。 【単位認定方法の最低基準】　授業内容の80％を理解していること。 【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】①知識・理解　②倫理観・社会的責任		
受講資格	家政学部 生活科学科１年	**成績評価 方法**	①ノートまとめ20%☒ ②課題30%☒ ③期末試験50%
教科書	①指定の資料を各自コピーして持参する。☒ ②指示したホームページをダウンロードして、各自印刷して持参する。		
参考書	必要に応じて、授業内で案内する。		
学生への要望	１．私語を慎み、意欲的に取り組んで下さい。☒ ２．各省庁のホームページを検索する場合があります。パソコンを持参してください。☒ ３．ノートをしっかりとって下さい。☒ ４．体調不良などで、授業に出席できなかった場合は、その日の授業内容について、友人や担当者に確認するなどして、不足分は自分で補って下さい。☒ ５．食生活を取り巻く周辺は多岐にわたっています。日常生活の各場面において、常に食との関わり方に興味を示してください。		
オフィスタイム	月曜日3時限および火曜日3時限目の№1食品学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の目的	「食生活概論」は、「食」に関わる周辺や、「食」に対する心理的、文化的側面についての教養や感性を養うことが目的であることを理解する。併せて、授業の導入として、食品の定義について説明し、「食品」とは何かを理解する。	復習：1回目の授業内容についてノート整理をしてください。	30
2	食品表示と法的位置づけ	食品表示は、食品の履歴書・保証書であることから、「食品表示」の情報を正確に読み取ることが安心・安全な食品を選択するために重要である。ここでは食品表示は消費者庁が一元化して掌握していることを理解する。なお、学生が持参した食品のパッケージの表示を各自確認させながら授業を進める。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：2回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題①に取り組んでください。	60
3	品質等選択に役立つ表示	JAS法に基づく食品表示は品質の表示基準であるとともに、遺伝子組み換え食品の表示、加工食品の原料原産地表示、期限表示などがあり、その表示法について理解する。なお、学生が持参した食品のパッケージの表示を各自確認させながら授業を進める。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：3回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題②に取り組んでください。	60
4	安全や衛生に関する表示	食品衛生法による食品表示の法体系と表示内容、および食物アレルギーの表示制度について理解する。なお、学生が持参した食品のパッケージの表示を各自確認させながら授業を進める。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：4回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題③に取り組んでください。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	健康や栄養に関する表示	特定保健用食品制度の概要および許可の条件、特別用途食品制度の概要および新設の総合栄養食品、栄養表示基準制度の概要および表示の種類について理解する。なお、学生が持参した食品のパッケージの表示を各自確認させながら授業を進める。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：5回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題④に取り組んでください。	60
6	食の安全について	食の安全性の考え方について説明し、食品の安全確保には、食品の加工および保存技術の発展が重要であること、および、食の安全については客観的な判断が必要であることを理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：6回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題⑤に取り組んでください。	60
7	おいしさの基本理念	「食べ物のおいしさ」には、外観、香り、味、テクスチャー、音などの五感によってとらえられる生理的なおいしさがある。また、価格や商品名などの情報は、心理的においしさに影響を及ぼすことについて学習し、理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：7回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題⑥に取り組んでください。	60
8	食嗜好の形成	食物の認知や好き嫌いは、脳の第２次味覚野で統合されて判断される。おいしい、まずいは慣れへの依存であり、幼児期に刷り込まれた味が強固となって食嗜好が形成されることを理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：8回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題⑦に取り組んでください。	60
9	食生活と健康	我が国において、食生活と健康維持・管理に係る取り組みとして2013年度から開始している「第4次国民健康づくり対策：健康日本21（第2次）」について解説し、生活の質の向上と社会環境の質の向上について理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：9回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題⑧に取り組んでください。	60
10	日本人の食事摂取基準（2020）	日本人の食事摂取基準は、健康な個人並びに集団を対象として、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の予防のために2020年4月より実施する「日本人の食事摂取基準（2020）」について、その概要と改正のポイントについて理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：10回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題⑨に取り組んでください。	60
11	食料と環境問題	「快適な環境」、「魅力ある環境」を目指すために、フード・マイレージの低減、食料自給率、地産地消、食べ残しや食品廃棄の低減への取り組み方について理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：11回目の授業内容についてノート整理をしてください。☒ 課題：課題⑩に取り組んでください。	60
12	照射食品の安全性とその利用	我が国では、ジャガイモの芽止めのみ、放射線照射が許可されている。放射線照射食品との関連から、放射性物質による食品への移行と健康への影響について考え方を理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：12回目の授業内容についてノート整理をしてください。	60
13	食空間の基礎	食空間は、人間・時間・空間の３要素を相互作用させて創造しなければならない。色は食空間のイメージを決定づけたり、色の持つ力を意識的に使って料理をおいしく見せたり、食卓を楽しく演出することが出来る。ここでは、色の基本、色と料理のおいしさの関係、色とテーブル・コーディネートの関係について、理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。☒ 復習：13回目の授業内容についてノート整理をしてください。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	店舗、飲食店、キッチンの食空間	食空間は、食物を売るデパート・スーパーマーケット・街の洋菓子店など小売店の売場と、食物を食べる家庭の食卓や飲食店の客席などの食事空間と、調理するキッチンに区別できる。ここでは、いかに分かりやすく楽しく買物できるか、いかに満足し心地よく食事できるか、いかに効率よく環境衛生に即して調理できるかを念頭においた食空間について理解する。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。 復習：14回目の授業内容についてノート整理をしてください。	60
15	授業の総括：確認と授業評価	本授業のまとめとして、ここでは、　授業内容に関わる身近な話題を取り上げて解説する。さらに、「アメニティ」と「ホスピタリティ」の精神が、「安全」かつ「健康」で「満足」できるような食生活の質の向上の構築につながることを再確認し、理解する。あわせて、本授業に対し、学生より評価を得る。	予習：mocaに指示した資料を印刷し、そのことについて事前学習をしてください。 復習：15回目の授業内容についてノート整理をしてください。	60

令和3年度

科目名	住生活概論	**対象** **単位数** **必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修
担当教員	阿部 恵利子		
開講期	前期		
授業概要	住まいに求められる機能は、多様化する現代社会においてきわめて複雑である。しかし、住まいにおける「社会の原点」「安らぎの場」という役割は普遍的でなければならない。本授業では、これからの住まいがどうあるべきかの答えを導き出すために、住まいに関する成り立ちや住まい方計画、構造、環境問題、福祉住宅にまで視野を広げて講義する。また、後半にはこれらの理論を応用して設計製図の基礎を学ぶ。課題に対する発表及びレポート提出後、コメント等によるフィードバックを行う。位置付け・水準 HL2137		
達成目標	広い視野で物事を捉え、住生活に関わる基礎的知識を総合的に理解する。さらに社会及び家庭生活における諸問題について考察し、学んだ知識や技術を活用して問題解決を図ることができる。単位認定の最低基準は以下の①～④について7割達成していること。☒ ①わが国の住宅におけるＭＤ及び気候風土との関連について理解する。☒ ②家族と間取りとの関連について考察する。☒ ③UD住宅の在り方について理解する。☒ ④簡単な住宅設計製図の内容を読み取る。☒ ディプロマポリシーとの関係：「知識・理解」「論理的思考力・問題解決力」「倫理観社会的責任」		
受講資格	生活科学科	**成績評価方法**	①定期試験７０％☒ ②提出図面３０％
教科書	初めて学ぶ住居学＜建築のテキスト＞編集委員会　学芸出版社		
参考書	「住宅の計画学入門」鹿島出版会☒ 「ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞｷｯﾁﾝはこうして誕生した」技報堂出版		
学生への要望	現代における住まいの問題点を把握するために、新聞等に目を通す習慣を身に付けること。		
オフィスタイム	生活科学研究室☒ 月曜日Ⅰ・Ⅱ時限（8：50～12：00）☒ 木曜Ⅰ時限（8：50～10：20）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業ガイダンス	これからの授業内容や進め方、目的を説明する。また、私たちの住生活をとりまく問題について考える。	新聞等に目を通し、日頃から住生活における問題に目を向ける。	60
2	住生活と諸問題	多様化する住生活について理解し、様々な住生活の諸問題について考える。	住生活の諸問題を取りあげ、自分の考えをまとめておく。	60
3	住生活と住まいの変遷	日本の風土的特徴を踏まえながら、気候風土と住まいの形態及び地域性と住まいについて確認する。	日本の気候風土、地域性についてまとめる。	60
4	家族と住まいの変遷	現在の住まいの構造や形式は非常に多様であるが、住まいの変遷を辿ると各時代の家族観がその平面構成に反映されていることを確認する。	住まいの変遷と平面構成の変化を確認する。	60
5	高齢者と住環境	高齢者の身体的特徴を踏まえながら、住居内での事故を防止するための手すりや段差解消の方法について学ぶ。また、現代社会における基礎的問題として、介護保険制度について理解し、高齢者の自立促進及び介護者の負担軽減を目的とした居住環境整備について考える。	介護保険制度を踏まえながら、住居内の事故防止のための方策についてまとめる。	60
6	間取りの重要性１	本来最も安心して過ごすべき住まいが子供の犯罪行為の場となった事例から、住まいにおける子供空間の位置付けについて考察する。	子どもの自立と子ども部屋の関係について調べる。	60
7	間取りの重要性２	間取り（空間構成）と家族問題とを関連付けながら、心（ｿﾌﾄ）と住まい（ﾊｰﾄﾞ）との関係が皆無ではないこと、さらには両面から人間を守護しなければならないことを確認する。	家族の問題と間取りの重要性について考えをまとめる。	60
8	住宅と衛生	換気と結露（表面結露・内部結露）との関連について理解し、結露を発生させない住まい方を考える。	住まいの衛生について考え、住まい方を考察する。	60
9	住宅設計製図の基礎	模範住宅の図面から、設計に用いる開口部などの記号について説明します。次に、設計製図における線の引き方の基礎を学びます。☒	設計製図における線の引き方を練習する。	60
10	線の引き方，製図文字の練習	前授業に引き続き、線の引き方と、製図文字を練習する。次にダイヤモンドリング作成について説明する。	線の練習を意識しながら、ダイヤモンドリングを作成する。	180
11	ダイヤモンドリングの作成	線の練習を目的に、ダイヤモンドリングを作成する。太さや濃さに注意を払って慎重に作成する。	線の練習を意識しながら、ダイヤモンドリングを作成する。	180

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	ダイヤモンドリングの作成	線の練習を目的に、引き続きダイヤモンドリングを作成する。太さや濃さに注意を払って慎重に作成した後、住宅図面トレースについて説明する。	線の練習を意識しながら、ダイヤモンドリングを作成する。	60
13	住宅図面のトレース1	模範住宅の図面をトレースすることにより、設計図の描き方の基礎を学ぶ。本授業では、平面・配置図を完成させることを目的とする。	平面図・配置図をトレースする。	180
14	住宅図面のトレース２	前授業に引き続き、２階平面図、立面図を完成させる。	2階平面図と立面図のトレースを完成させる。	180
15	住宅図面のトレース３	前授業に引き続き、トレースを完成させることにより、図面を読む基礎的知識を習得する。	製図記号等の基礎的知識を理解し、トレースを完成させる。	180

令和3年度

科目名	生活経済学	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 3年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
担当教員	長谷川　貴弘		
開講期	前期		
授業概要	本授業では、経済学においてより生活と密接につながっている分野について学修を深める。現代社会において、我々の生活は貨幣を媒介とした経済活動なしには維持していくことはできない。それ故に、経済に関する知識を高め、経済への理解を深めることは、今後社会人として生活をしていく上で必須のものとなると思われる。☒ 本授業では、一家庭の経済生活である「家計」の歴史、家計経済の最近の傾向・今後の動き、さらにはライフサイクルの変化と各ライフステージごとにかかる費用とそれに伴う貯蓄と負債、持続可能な社会等について採り上げる。☒ なお、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方について採り上げていく。☒ 【実務経歴】☒ 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。☒ 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☒ 小テスト採点後、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☒ 【位置づけ・水準】　HU2302 【履修カルテの評価項目】 ①一家庭の経済生活である「家計」の歴史及び家計経済の最近の傾向を理解することができたか。 ②ライフサイクルの変化と各ライフステージにかかる費用、その変化について理解することができたか。 ③講義を通じて、生活と経済が密接に結びついていることが理解できたか。		
達成目標	【単位認定の最低基準】　☒ 一家庭の経済生活である「家計」の歴史、家計経済の最近の傾向・今後の動き、さらにはライフサイクルの変化と各ライフステージごとにかかる費用とそれに伴う貯蓄と負債、持続可能な社会等について理解を深めることを目標とする。これら内容を８割程度理解していることを単位認定の最低基準とする。☒ ☒ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】　知識・理解、問題解決力		
受講資格	家政学部 人間生活学科 3年生	成績評価 方法	①小テスト30点（15点×２回）☒ ②レポート70点
教科書	プリントを配布する。		
参考書	大藪千穂「生活経済学」放送大学教育振興会、2012年　☒ 重川純子「生活経済学」放送大学教育振興会、2016年		
学生への要望	本授業の内容は、いずれも社会人として経済活動にかかわっていく上で必須のものとなると思われるのでしっかりと取り組んでもらいたい。		
オフィスタイム	火曜日　3コマ　水曜日4コマ☒ 食品経営学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・生活経済の歴史	授業の進め方、評価方法について説明する。☒ 古代から現代までの生活経済を概観し、生活経済学の位置付けについて学修する。☒	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	戦後の経済変化と生活	1945年以降現在までの経済と生活の変化について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	家計研究史（世界と日本）①	世界における家計研究・調査に関する歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	家計研究史（世界と日本）②	日本における家計研究・調査に関する歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	家計収支と家計簿記帳	家計の収入・支出の種類と家計簿の記帳法について、実際の統計資料の見方・活用の仕方を交えて学修する。	家計の収入・支出の種類についてノートを見直しておくこと。	30
6	家計をめぐる法則	エンゲルの法則と必需品とぜいたく品の違い、消費者物価指数について学修する。☒	各種統計の原理についてノートを見直して復習すること。	30
7	ライフサイクルと貯金・負債①	ライフサイクルの変化と各ライフステージごとにかかる費用とそれに伴う貯蓄と負債の変化について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	ライフサイクルと貯金・負債②	各ライフステージごとにかかる費用とそれに伴う貯蓄と負債の変化について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	単身世帯と二人以上世帯の家計①	単身世帯の家計の特徴について学修する。 小テスト（1回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習しておくこと。	60
10	単身世帯と二人以上世帯の家計②	二人以上の世帯の家計の特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	離婚の経済とひとり親世帯の家計①	離婚件数の現状と離婚にかかる費用について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	離婚の経済とひとり親世帯の家計②	離婚後における生活上、経済上の変化について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	高齢者世帯の家計と生活①	高齢者世帯の家計とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
14	高齢者世帯の家計と生活②	高齢者世帯の家計とその特徴について学修する。（前回の続き）	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
15	まとめ	これまでの学修内容について確認と復習を行う。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習しておくこと。	60

令和3年度

科目名	家族関係学	**対象 単位数 必選**	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 4年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
担当教員	知野　愛		
開講期	前期		
授業概要	人間生活の基盤となる家族に焦点をあて、家族の意義と機能、家族の変化等を家族社会学的視点から考察する。レポートを提出しそれに対してコメントをつけて返却しフィードバックを行う。☒ 位置付け・水準:HL2414, FN2403		
達成目標	達成目標は、8割以上の理解度をもってレポートを提出すること。☒ 単位認定の最低基準:内容の8割を理解していること。ディプロマ・ポリシーとの関係:HL 知識・理解、倫理観、社会的責任。FN 社会貢献、意識と責任感		
受講資格	人間生活学科(HL)・食物栄養学科(FN)4年生、文化学専攻科1年生他	**成績評価 方法**	レポート(80点)、授業提出物(20点)
教科書	特に指定しない		
参考書	木下謙治監修『家族社会学　基礎と応用』九州大学出版会　2019年他		
学生への要望	興味をもったキーワードを適宜検索などして調べることを勧める。		
オフィスタイム	(前期)水曜Ⅱ限、金曜Ⅱ限、(場所)地域創成学科研究室No.1(芸術館1階)		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の進め方と概要	シラバスに基づき、授業の内容と進め方、授業のねらい及び評価の方法について社会学的視点から考察する。	復習:関連資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回のテーマを検索し書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
2	家族とは何か	人間と家族、家族と世帯、家族構成、家族の変容について社会学的視点から考察する。。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
3	家族の変動	家族変動論、産業化と家族変動の諸側面、家族変動の行方について社会学的視点から考察する。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
4	配偶者選択と結婚	配偶者の選択、結婚成立への過程、結婚について、社会学的視点から考察する。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
5	夫婦関係	夫婦関係に対する社会学的視点、「家」制度と夫婦関係、近代家族と夫婦関係、夫婦の瀬力関係と情緒関係、現代の夫婦関係について考察する。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
6	親子関係	社会学から見た親子関係、家族周期と親子関係、ひとり親世帯・ステップファミリー、事実婚における親子関係について、社会学的に考察する。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
7	高齢者と家族	現代社会における高齢者、高齢者の家族構成、高齢者と家族の関係性、老親扶養と家族関係、老いと高齢者と家族をめぐって社会学的に考察する。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
8	結婚の多様化と家族	近代的な結婚、日本における近代的な結婚規範、企業社会と結婚、多様な結婚に向けて、社会学的に考察する。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
9	生殖補助医療と家族	生殖補助医療とは、諸問題、日本での状況、生殖補助医療をめぐる裁判事例他について社会学的に考察する。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
10	少子化と子育て環境	日本の少子化の状況、第二の少子化期の社会的動向、国の少子化対策、少子化の要因とその背景、「子ども・子育て支援新制度」と子育て環境の整備。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
11	青少年問題と家族	青少年の定義と最近の若者たち、青少年問題としての非行、非行少年と家族、青少年問題からみた現代家族、現在の状況と今後の課題について考える。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	高齢者介護の諸問題	高齢者介護の動向と家族の抱える諸問題、高齢者介護に対する家族社会学の問題関心、家族政策と高齢者介護、高齢期における配偶者喪失と家族について、社会学的視点から考察する。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
13	虐待と家族	虐待とは何か、家族間の暴力虐待はなぜ起こるのか、虐待の背景と被虐待者･児が抱える諸問題などを社会学的視点から考える。	復習:関連する新聞記事を切り抜き保管し、資料を読むなど自発的に学ぶ。予習:次回テーマについて検索し関連書籍を読むなど自発的に学ぶ。	60
14	レポート作成	授業で扱ったテーマの中から1つを選んでレポートを作成する。授業支援システムmocaに期限までに提出する。	復習:これまでの新聞記事切り抜きや、関連資料の情報などをレポートに取り入れる。予習:関連書籍を読み更に理解を深める。	60
15	レポート講評・フィードバック	レポートの講評をする。提出レポートにコメントをつけてフィードバックする。	復習:レポートの内容を振返る。関心を持った事柄に関する書籍を読む。	60

令和3年度

科目名	情報処理演習	**対象 単位数 必選**	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
担当教員	石原　正道		
開講期	前期		
授業概要	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成について学習する。☒ フィードバックとして、未提出物がある場合や提出物の内容が不十分である場合などは追加課題の実施等を行う。☒ ☒ 位置づけ・水準 GU1120		
達成目標	本演習における達成目標は次の通りとする。☒ 1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。☒ 2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。☒ 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。☒ ☒ 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成		
受講資格	なし。	**成績評価 方法**	達成目標の到達度合いは課題により評価する。内容の区切りで課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は課題１を２０％、課題２を４０％、課題３を４０％とする。
教科書	イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と情報モラル Office 365・Office 2019対応、noa出版 (2019)		
参考書	なし。		
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。		
オフィスタイム	月曜日 16:10-17:05, 情報処理教育研究室☒ 水曜日 14:30-16:00, 情報処理教育研究室☒ 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。☒ アポイントメント用連絡先 m_isihar@koriyama-kgc.ac.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	復習として次のことを行うこと。 ・Webメールから携帯電話へメールを送信する(正しく着信することを確認する)。 ・携帯電話からWebメールのアドレスへメールを送信する。メールが転送されることを確認する。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえ、インターネットを利用するためのセキュリティーについて触れる。☒	復習として、次の点についてまとめること。 ・URLの構造 ・インターネットを利用する際に注意すべきポイント	45
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。☒た Email を利用するためのセキュリティについて学ぶ。ローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。☒	復習として、Emailアドレスの構造とTO, CC, BCC の違いをまとめること。	30
4	課題1	インターネット (ブラウザ・メールなど) の用法について、正しく利用できるか確認をする。☒ また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード http://www.noa-prolab.co.jp/download/	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	30
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いてWord STEP2 確認テスト1を実施すること。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いてWord STEP2 確認テスト2を実施すること。	20
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となるExcel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いてWord STEP2 確認テスト3, 確認テスト4を実施すること。	40
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。☒	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学ぶ。	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成してみること。	30
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。☒	予習として教科書のp.132からp.141までを読んでおくこと。	30
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。☒	予習として教科書のp.132からp.152までを読んでおくこと。	30
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いてExcel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。	30
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。☒	復習として、eLearning Systemを用いてExcel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。	30
14	課題３	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。☒	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでおくこと。	30

令和3年度

科目名	社会調査法	**対象単位数必選**	家政学部 生活科学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
担当教員	長谷川　貴弘		
開講期	後期		
授業概要	社会調査というものが何を目的として、どのように行われるのかという基礎知識の習得に努めた上で、データや数字に対する忌避感を和らげるため、身近な例を挙げて平易な解説に努め、社会調査への理解を深めることを目標としたい。☒ なお、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計データの見方、活用の仕方について採り上げていく。☒ 【実務経歴】☒ 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。☒ 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☒ 小テスト採点後、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☒ 【位置づけ・水準】　HL2317		
達成目標	【単位認定の最低基準】　社会調査におけるデータの収集、分析・加工、報告について理解を深めることを目標とする。このためこれら内容の８割程度を理解していることを単位認定の最低基準とする。☒ ☒ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】　問題解決力、倫理観・社会的責任		
受講資格	家政学部　　生活科学科　3年生☒ 短期大学部　専攻科　　1年生	**成績評価方法**	①小テスト30点（15点×2回）☒ ②課題（レポート）70点
教科書	プリントを配布する。		
参考書	轟亮・杉野勇編「入門・社会調査法」法律文化社		
学生への要望	授業中はしっかりとノートを取り、課題に取り組むこと。		
オフィスタイム	火曜日　2コマ　金曜日4コマ☒ 食品経営学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス 社会調査とは何か	授業の進め方、評価方法について。☒ 社会調査とは何か、何を目的として行われ、どのように分類されるか学修する。☒	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
2	社会調査の種類①	社会調査の分類、量的調査と質的調査について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
3	社会調査の種類②	社会調査における質的調査の特徴について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
4	社会調査のプロセス	社会調査の全体像の把握と、構想・計画・実査・データの入力と点検、報告、管理について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
5	社会調査のデザイン①	社会調査の調査内容とその検証について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
6	社会調査のデザイン②	仮説の検証とより良い調査研究について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
7	実査の方法①	データ収集法選択の基準について学修する。	これまでの学修内容を確認し、小テストに備えること。	60
8	実査の方法②	様々な調査方法のうち、適切なデータ収集法の選択について学修する。小テスト（1回目）	これまでの学修内容を確認し、小テストに備えること。	60
9	調査票の作成	調査票の作成、手順、構成、質問形式、質問を作成・配置する場合の留意点について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
10	サンプリング	調査対象の選び方について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
11	調査の実施	郵送法実査、個別面接法実査等の運営・手順について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
12	データファイルの作成	データ入力とその手順について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
13	データの集計方法	情報の集約、代表値（平均）から相関係数について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	調査報告とデータの管理 （パソコンを用いての実習）	調査の報告と報告後のデータの管理について学修する。 このため実際にパソコンを用いてデータの加工、管理について実習形式で授業を行う。	実習に備えてこれまでの学修内容を確認すること。また授業内で終わらなかった課題については自宅学修で引き続き取り組むこと。	60
15	社会調査の倫理について 学修の総まとめ	社会調査協会倫理規定に基づいて社会調査の倫理について学修する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容を確認し、小テストに備えること。	60

令和3年度

科目名	総合英語 I	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	ダニエル　ホーナー		
開講期	前期		

授業概要	"Comprehensive English 1" for Life Science Dept. Students - Outline:☒ A. The number (ナンバリング) of this subject is GU1117.☒ B. Instructor taught English at Koriyama Women's University Attached High School☒ (郡山女子大学附属高等学校) for 19 years. 郡山開成学園の教員として高校に勤務していました。☒ C. Students express themselves through a self-introduction in active learning environments.☒ D. Describe characteristics and personalities of others through active learning. ☒ E. Talk about your family and their profiles in active learning group presentations.☒ F. Take a comprehensive written examination.☒ F. Active learning is substantially utilized in every lesson!☒ FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.
達成目標	1. The main objective is to improve all 4 English skills (reading, writing, listening and speaking) with a focus on English communication and listening through numerous active learning situations.☒ 2. Students will learn how to self-evaluate their coursework, ways to improve their ability on homework, quizzes and reports, and how to become active learners to truly increase English proficiency. ☒ 3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, the quiz, homework and the final test.☒ 4. The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."
受講資格	大 1 年生 活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
成績評価方法	1. Attitude (10%) ☒ 2. Quiz, Homework (40%) ☒ 3. Final Written Test (50%)
教科書	"Impact CONVERSATION 1" by Kristen Sullivan and Todd Beuckens.☒ Publisher: Pearson and Longman.☒ ISBN: 978 - 962 - 01 - 9933 - 2☒ The textbook can be used for 1 year, e.g., this textbook ☒ can be used for both 総合英語 I and 総合英語 II.
参考書	Prints produced by the instructor.
学生への要望	1. Please attend all classes and be active learners during every class. ☒ 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own.☒ 3. Always do classwork, coursework and listen to the CD. ☒ 4. Study hard for quiz and test.
オフィスタイム	Office hours are Monday and Wednesday 5th Period (16:10 ~ 17:40), ☒ and by appointment, 創学館 4 F No.3 研究室.

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction, Guidance and Unit 1	Guidance about the textbook, tests, quizzes, homework, attendance, etc. Active Learning: Interview classmates to ascertain information about them. Unit 1 - Guess Where I'm From: Pages 8-9, 81, CD Tracks 2-8.☒	Review Unit 1, Listen to CD Tracks 1-8.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
2	Unit 1 - Conversation Starters	Unit 1 - Guess Where I'm From: Getting background information from others. Watch an Internet video about requesting background information. Active Learning: Share basic personal information in groups. Pages 9-11, 81, CD 2-8.	Review	90
3	Unit 1 - Personal Questions	Unit 1 - Asking Personal Questions: Who are you like? Asking personal questions to classmates. Active Learning: Presentations of detailed personal profiles in groups. Pages 11-12, 81, CD 2-8.	Review	120
4	Unit 2 - Comfy Seats	Unit 2 - Comfy Seats: Expressing preferences. Active Learning: Listen to determine entertainment preferences of five people. Pages 13-16, 82, CD 9-15.	Preparation	120
5	Units 2 and 3 - The Art Gallery	Unit 2 Review. Unit 3 - Pastimes: Describing your own pastimes. Watch and practice an Internet video about expressing entertainment preferences. Introduction to additional Internet resources. Active Learning: Pair work to express preferences about genres of music and movies. Pages 17-18, 83, CD 14-22.	Review	90
6	Units 3 and 4 - My Quirky Family	Unit 3 Review. Unit 4 - My Quirky Family: Describing family members and personalities. Active Learning: Presentations on pastimes in groups. Pages 19-23, 84, CD 21-26.	Preparation	120
7	Unit 4 - Family Relationships	Unit 4 - Describing Family Relationships. Active Listening: Listen to determine the feelings and complexities of family relationships. Pages 23-24, 84, CD 23-29.	Review all materials ☒ and study for quiz.	150

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	Units 4 and 5 - Scaredy Cat	Unit 4 Review. Unit 5 - Scaredy Cat: Expressing Fears. Researching iconic artists. Active Learning: Presentations in groups about your own family. Pages 24-27, 85, CD 27-30. Take quiz No.1.	Preparation	120
9	Unit 5 - Scaredy Cat	Unit 5 - A Board Game: Playing a game about scary things. Active Learning: Listen to ascertain what people are afraid of. Pages 27-28, 85, CD 30-36.	Review	120
10	Unit 6 - The Commute	Unit 6 - Commutes: Discussing commutes to university. Watch and practice an Internet video about getting around town. Introduce more Internet resources. Active Learning: Interview classmates to learn about their commutes. Pages 29-30, 86, CD 37-44.	Prepare an essay on commutes.	90
11	Unit 6 - Complaints	Unit 6 - Dislikes: Expressing dislikes and complaints. Active Learning: Group discussion on the reasons people dislike commutes. Pages 31-32, 86, CD 37-44.	Review	120
12	Units 1-6 Review	Comprehensive Review of Units 1-6. Complete grammar and conversational exercises to review all the previous units. Active Learning: Presentations in groups about topics and information gleaned form Units 1-6.	Review	90
13	Unit 7- A Close Shave	Unit 7 - A Close Shave: Talking about dangerous experiences. Active Learning: Listen to determine what kinds of incidents happened to people. Pages 33-36, 87, CD 45-49.	Review	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	Unit 8 - Excuses	Unit 8 - Excuses: Expressing healthy habits. Watch an Internet video about various countries and their foods. Active Learning: Conversations in pairs to articulate healthy eating habits. Pages 37-40, 88, CD 50-56.	Preparation	90
15	Comprehensive Review for Final Examination, Final Test	Conduct a comprehensive review for the final written examination. Active Learning: Group work where students do a cumulative review of the course by asking each other questions from Units 1-8. Pages 9-40, CD 2-56. Students take the final test today.	Study, review and prepare for final test. Take final test today.	240

令和3年度

科目名	総合英語 I	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	ポール　バーナミィ		
開講期	前期		

授業概要	Comprehensive English 2 (A) Outline: ☒ A. The number（ナンバリング）of this subject is GU1117.☒ B. The instructor has taught English for more than 20 years. EVALUATIONS FOR THIS CLASS: ① You should be able to give a short clear self-introduction. ② You should be able to read smoothly and understand a short passage. ③ You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form. FEEDBACK: I will frequently give constructive feedback to students on their participation, articulation, homework, quizzes and development.		
達成目標	GOALS OF THIS CLASS: A. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. B. Additionally, required quizzes and homework will incorporate listening tasks to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam. C. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 60% or higher on the overall average of these main criteria, attitude, quizzes and the final test. D. The “Diploma Policy” (DP) for this subject stipulates “Cooperation and Other” and “Human Development.”		
受講資格	大 1 年☒ A・B家政学部 食物栄養学科 ☒ 1年 2単位 選択	成績評価 方法	1. Active, Enthusiasm (20%) 2. Quizzes, Homework (30%) 3. Final Cumulative Test (50%)
教科書	Speak NOW 2 by Jack C. Richards & David Bohlke The textbook can be used for 1 year, e.g., this textbook☒ can be used for both 総合英語 I and 総合英語 II.		
参考書	Oxford University Press 2012		
学生への要望	Don’t miss class. Be attentive. Do regular listening of your audio files. Study 120 minutes of homework each class. Review all material including textbook and quiz material.		
オフィスタイム	Room 837: Monday, 14:30～16:30 Friday, 9:00～10:30 時間：月曜日, 14:30～16:30 時限 時間：金曜日, 9:30～10:30 時限 83年館 3Ｆ　837研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to Class	Lessons 1-4---FRIENDS & FAMILY---Lesson 1---Where are you from? Pages 2-8, Explain Textbook, Tests, Quiz. Active Learning Explained. External Supplements Explained. Homework, Attendance, etc. I will explain in detail how the online portion of the class will be used. Encourage students to ask questions and to give feedback on office hours, assignments, quizzes, test information, and any question they would like to ask.	Review the textbook. Read through Scope and Sequence of the textbook. Explain lessons we will do for the class. Show and explain the textbook and the online activities the students will do for the class. Bring textbook to all classes.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
2	Lesson 1	Lesson 1---Where are you from?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 2-4. Conversation. Active learning pair work activity. English in Action Video, Page 10. Watch and explain online video. First, I will read the English picture book with the students. Next, four students every class will read the book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 2-3. Listen to tracks 2-4. Do vocabulary worksheet 1.	120
3	Lesson 2	Lesson 2---I'm tall and thin.---Review Lesson 1---Where are you from?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 5-6. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 4-5. Listen to tracks 5-6. Do vocabulary worksheet 2.	120
4	Lesson 3	Lesson 3---Alice is more serious.---Review Lesson 2---I'm tall and thin.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 7-8. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 6-7. Listen to tracks 7-8. Do vocabulary worksheet 3.	120
5	Lesson 4	Lesson 4---All of my friends text.---Review Lesson 3---Alice is more serious.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 9-11. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 10-11. Confidence booster. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 8-9. Listen to tracks 9-11. Do vocabulary worksheet 4. Review pages 12-13 English in Action online video supplement.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	Lesson 5	Lessons 5-8---RESTAURANTS---Lesson 5---I've never had Thai food.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 12-13. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 12-13. Listen to tracks 12-13. Do vocabulary worksheet 5.	120
7	Lesson 6	Lesson 6---First, grill the bread.---Review Lesson 5---I've never had Thai food.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 14-16. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 14-15. Listen to tracks 14-16. Do vocabulary worksheet 6. Review returned quiz.	120
8	Lesson 7	Lesson 7---The service is great.---Review Lesson 6---First, grill the bread.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 17-18. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 16-17. Listen to tracks 17-18. Do vocabulary worksheet 7. Review returned quiz.	120
9	Lesson 8	Lesson 8---Are you ready to order?---Review Lesson 7---The service is great.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 19-21. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 20-21. Confidence booster. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 18-19. Listen to tracks 19-21. Do vocabulary worksheet 8. Review pages 20-21 English in Action online video supplement. Review Supplements. Review returned quiz.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	Lesson 9	Lessons 9-12---HEALTH---Lesson 9---I have a sore throat.---Review Lesson 8---Are you ready to order?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 22-23. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 22-23. Listen to audio tracks 22-23. Do vocabulary worksheet 9. Review English in Action online video supplement.Review Supplements. Review returned quiz.	120
11	Lesson 10	Lesson 10---What should I do?---Review Lesson 9---I have a sore throat.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 24-27. Conversation. Active learning pair work activity. Quiz. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 24-25. Listen to audio tracks 24-27. Do vocabulary worksheet 10. Review English in Action online video supplement. Review returned quiz.	120
12	Lesson 11	Unit 4---Shopping---Review ☒ Pages 20-25, Teachers CD 28-35. Quiz. Active English. External Supplements. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 20-25. Listen to audio tracks 9 & 10. Review Supplements. Review returned quiz.	120
13	Lesson 12	Lesson 12---Soccer is more exciting!---Review Lesson 11---I'd love to try that!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 30-32. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 30-31. Confidence booster. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 28-29. Listen to tracks 30-32. Do vocabulary worksheet 12. Review pages 30-31 English in Action video supplement. Review returned quiz.	120
14	Lesson 13	Lessons 13-16---JOBS---Lesson 13---I can write pretty well.---Review Lesson 12---Soccer is more exciting!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 33-36. Conversation. Active learning pair work activity. English Picture Book. Students read book in front of class.	Review the textbook. Read through pages 32-33. Listen to tracks 33-36. Do vocabulary worksheet 13. Do online assignment. Review English in Action video supplement. Review returned quiz.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	Test Review	Textbook Summary, CD Review, Quiz, Conversation. Active learning pair work activity review. Test Preparation & Review. English Picture Book Presentation. Students read books in front of class, students will form unrehearsed groups as I choose to demontsrate their reading and leadership skills.	Review the textbook. Read through pages indicated to study for the final test. Listen to all audio tracks indicated during test preparation.	180